

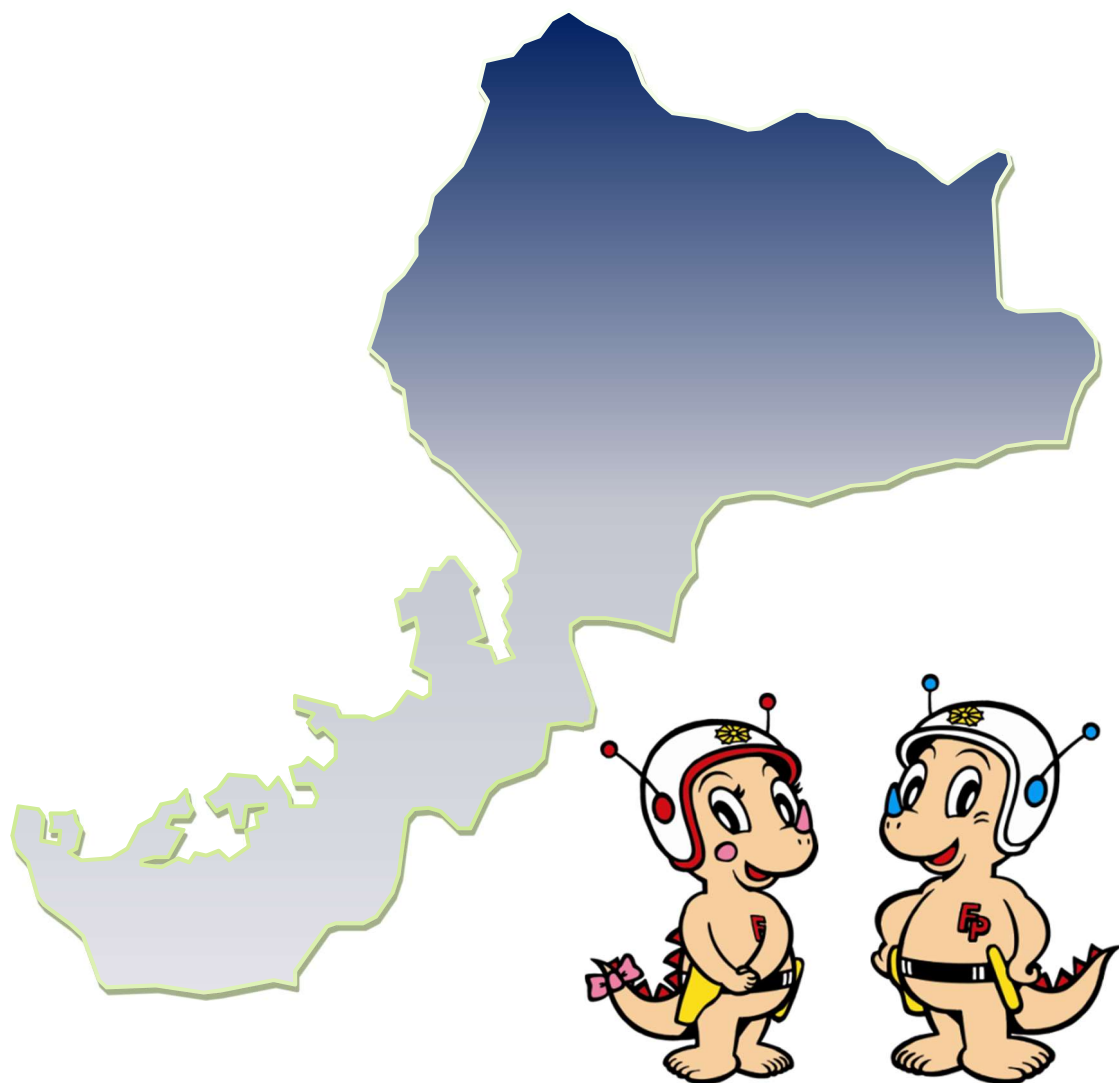
---

---

# 治安に関する県民意識調査

## 2022

(R4.10~11 調査)



福井県警察

---

---

# 目 次

回答者の属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

## 治安に関する意識

問1 福井県の治安をどう感じていますか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2  
問2 福井県の治安について、以前（おおむね2年前）と比べ、どう感じていますか・・ 3  
問3 福井県の治安について、不安に感じるものは何ですか・・・・・・・・・・・・ 4

## 子どもの安全対策

問4 子どもの安全を守るため、もっと強化すべき対策は何ですか・・・・・・・・・・ 5  
問5 少年の非行を防止するため、もっと強化すべき対策は何ですか・・・・・・・・・・ 6

## 女性の安全対策

問6 女性を犯罪から守るため、もっと強化すべき対策は何ですか・・・・・・・・・・ 7  
問7 女性被害者の負担を軽減するため、もっと強化すべき対策は何ですか・・・・ 8

## 高齢者の安全対策

問8 オレオレ詐欺、還付金詐欺などの特殊詐欺の被害に遭わないため、もっと強化す  
べき対策は何ですか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

## 犯罪の起きにくい社会づくり

問9 自転車盗、車上ねらい、器物損壊等の身近で発生する犯罪への対策として、  
特に力をいれてほしいと思う警察の活動は何ですか・・・・・・・・・・・・・・・・ 10  
問10 福井県における今後の高速交通網整備に伴う交流人口の増加など、社会情勢の変化を踏まえて、  
犯罪の起きにくい社会をつくるためには何が必要だと思えますか・・・・・・・・ 11  
問11 あなたは地域の防犯活動(見守り活動を含む)に参加していますか・・・・ 12  
問12 犯罪の被害を防止するため、どのような情報が提供されたら良いと思えますか・・ 13

## インターネットを利用した犯罪等のサイバー犯罪への対策

問13 インターネットを利用した犯罪等のサイバー犯罪への対策として、もっと強  
化すべき対策は何ですか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

## 組織犯罪対策等

- 問 14 暴力団対策として、もっと強化すべき対策は何ですか・・・・・・・・・・15  
問 15 暴力団排除活動を促進するために警察に期待する対策は何ですか・・・・16  
問 16 来日外国人の犯罪や不法滞在者対策として、もっと強化すべき対策は何ですか・・17

## テロ対策

- 問 17 テロを防止するため、警察に期待する対策は何ですか・・・・・・・・・・18

## 災害対策

- 問 18 災害の発生時に、警察に期待するものは何ですか・・・・・・・・・・19

## 交通事故防止対策

- 問 19 飲酒運転、ひき逃げ、あおり運転、著しい速度超過等の悪質・危険運転者を排除するため、もっと強化すべき対策は何ですか・・・・・・・・・・20  
問 20 福井県では、65歳以上の高齢者が犠牲となる事故や高齢運転者による事故が多く発生しています。高齢者の交通死亡事故を防止するため、もっと強化すべき対策は何ですか  
運転者対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21  
歩行者・自転車利用者対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

県警察では、県、県公安委員会と共に、平成15年から総合的な治安対策プランを策定し、県民の皆様が安全で安心して暮らせる福井の実現に向けた取組を推進してまいりました。令和3年4月から2年間は、「安全・安心ふくいプログラム2021-2022」に基づき、各種治安対策に取り組んでいます。

今回の意識調査で県民の皆様から寄せられました御意見・御要望を踏まえつつ、引き続き、治安の向上に取り組んでまいります。

調査に御協力いただきました県民の皆様には厚く御礼を申し上げますとともに、今後とも警察行政各般に対する御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

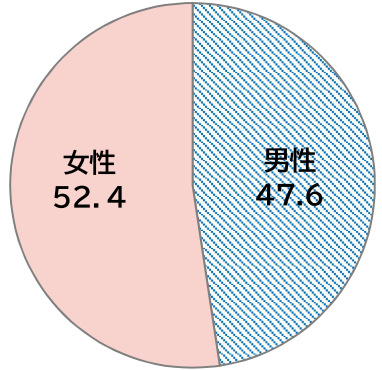


# 回答者の属性

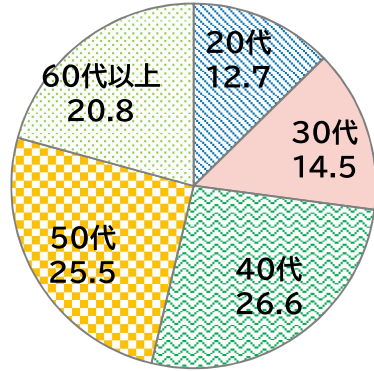
調査期間: 令和4年10月4日から11月9日までの間  
調査対象: 県内在住の満20歳以上の方 2,224人(県内の運転免許更新者)

※ 本資料における集計結果は百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計で100%に満たない、または上回ることがあります。

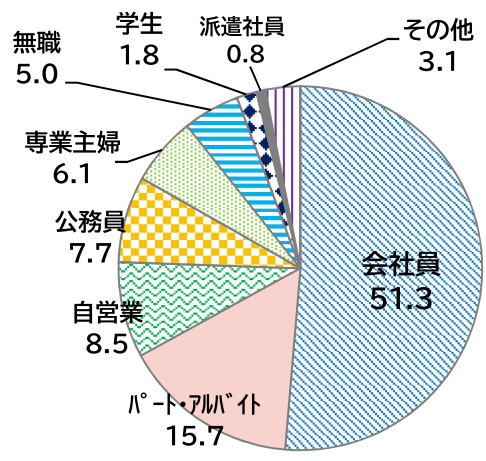
## 性別



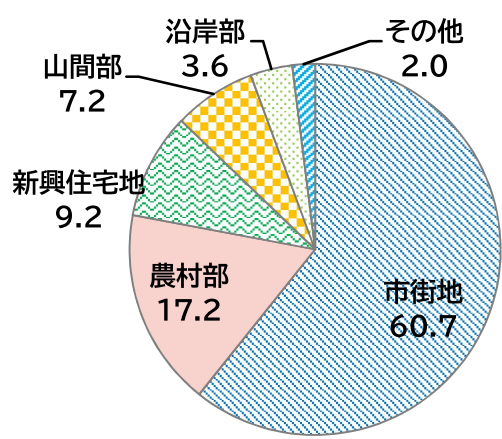
## 年齢



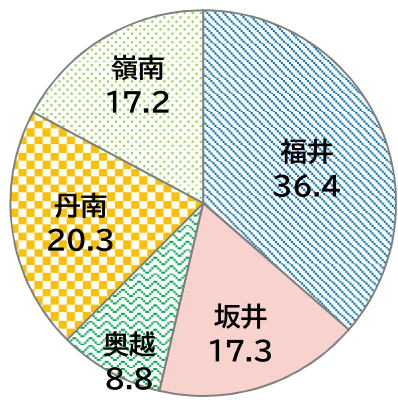
## 職業



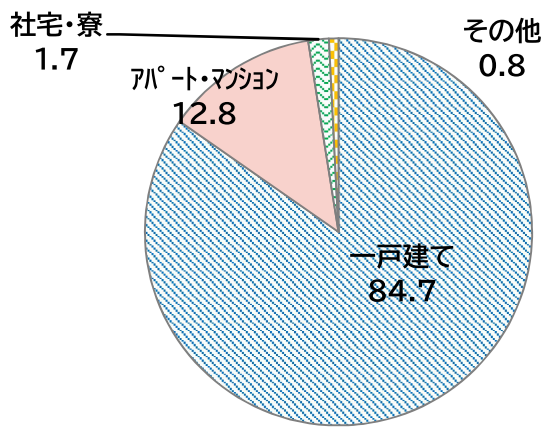
## 地域



## 市町

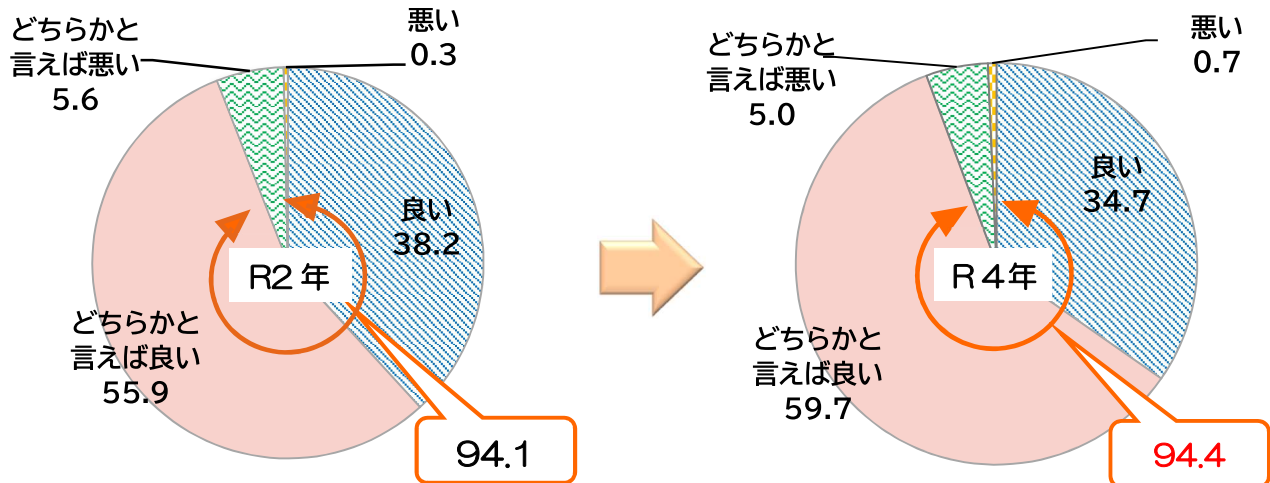


## 居住形態



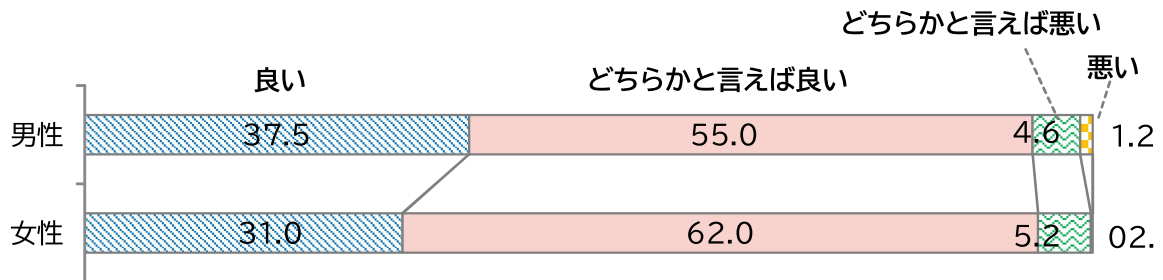
問1 福井県の治安をどう感じていますか。

- ◇ 「良い」・「どちらかと言えば良い」の合計の割合が全体の 94.4%を占め、前回調査より 0.3 ポイント増加
- ◇ 「悪い」・「どちらかと言えば悪い」の合計の割合が全体の 5.7%を占め、前回調査より 0.2 ポイント減少

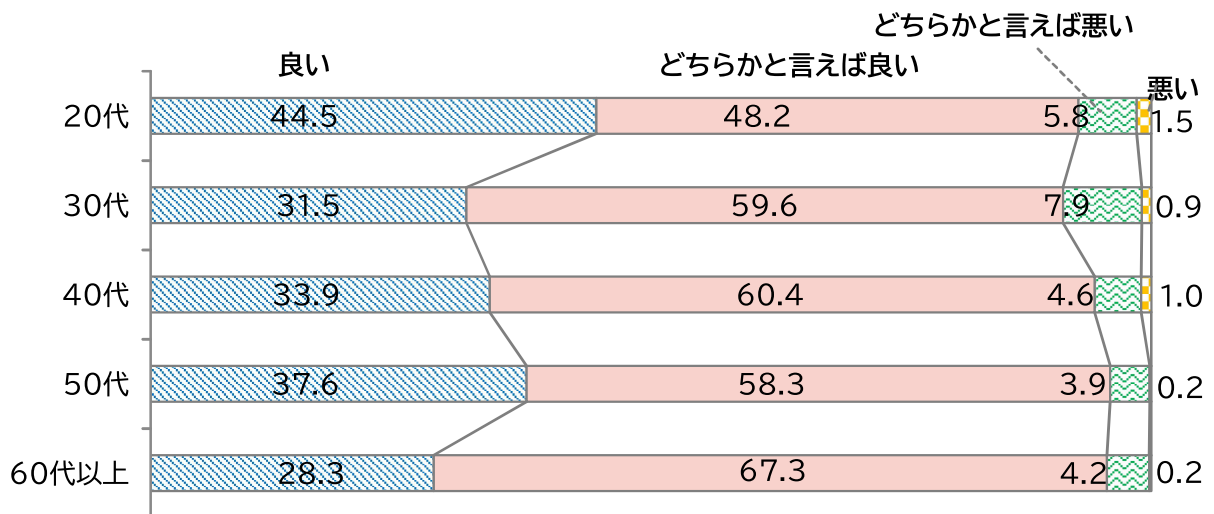


特徴

【男女別】 「良い」・「どちらかと言えば良い」の合計の割合は男性より女性が高くなっています。

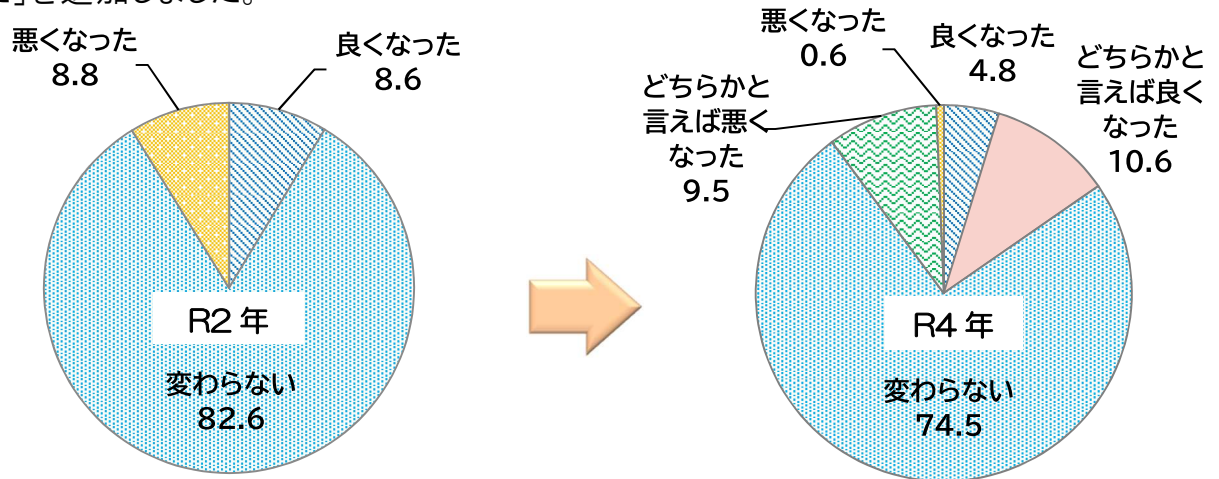


【年代別】 20代で「良い」の割合、30代で「どちらかと言えば悪い」・「悪い」の割合が高くなっています。



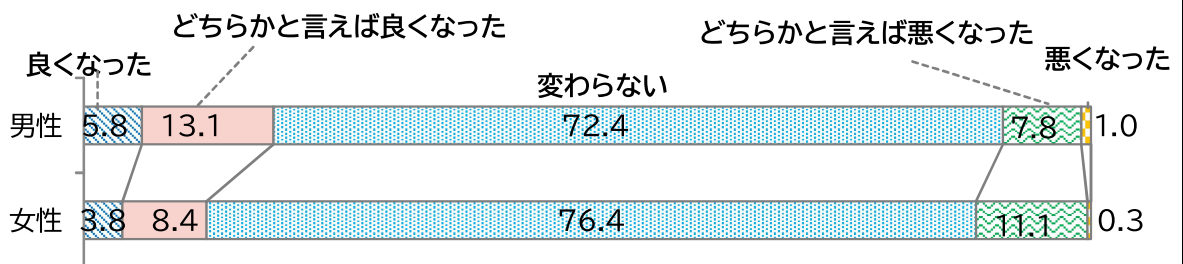
問2 福井県の治安について、以前（おおむね2年前）と比べ、どう感じていますか。

◇ 県民の皆様の体感治安について、より詳細に把握するため、今回の調査では、前回調査時にはなかった選択肢「どちらかと言えば良くなった」・「どちらかと言えば悪くなった」を追加しました。

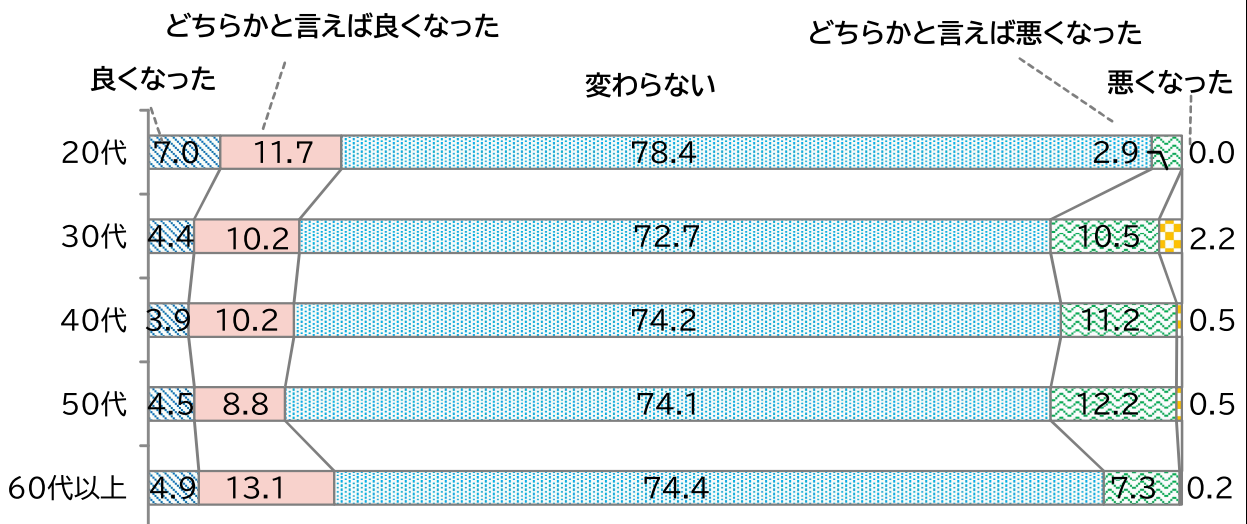


### 特 徴

【男女別】 「良くなった」の割合は女性より男性が高くなっています。  
「悪くなった」の割合は男性より女性が高くなっています。



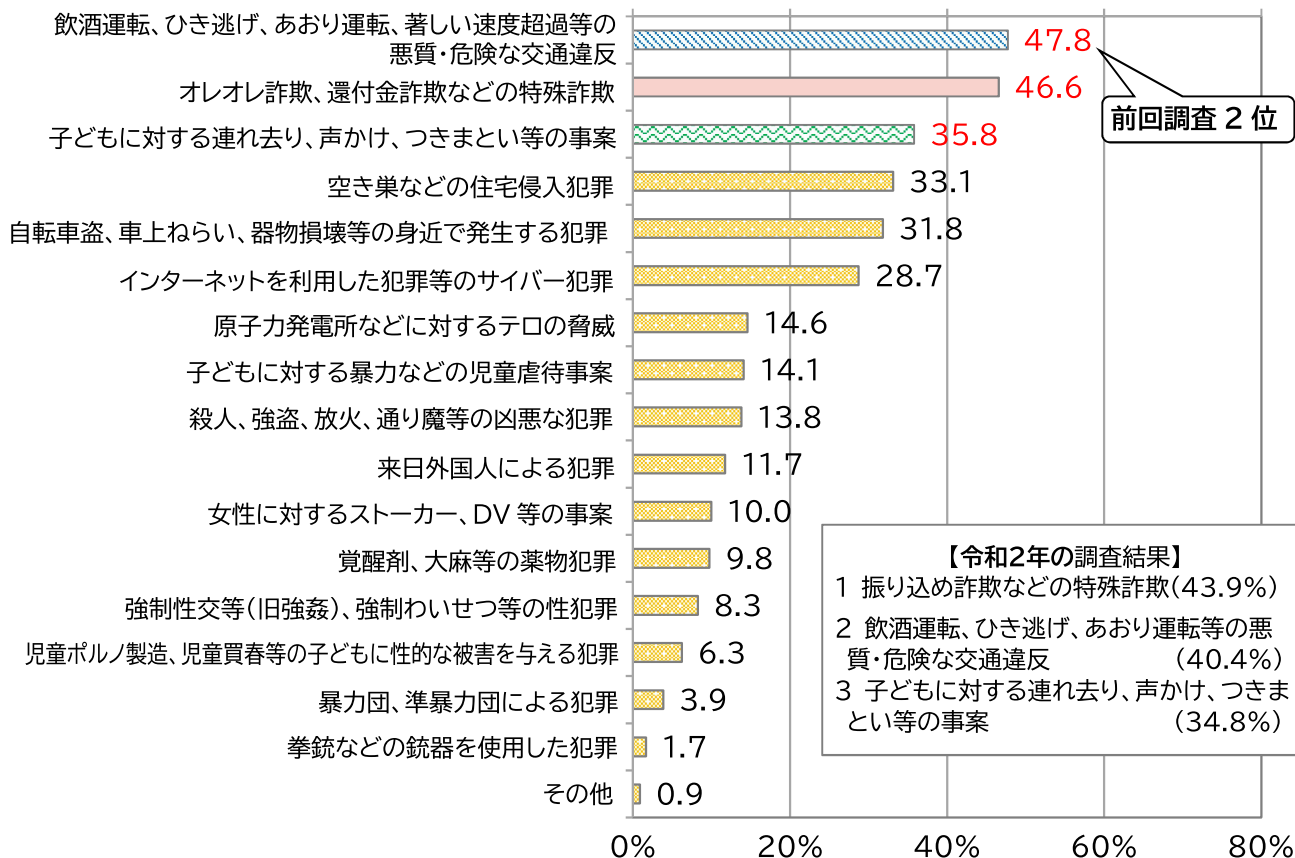
【年代別】 「良くなった」・「どちらかと言えば良くなった」の割合は20代と60代以上が高く、「悪くなった」・「どちらかと言えば」の割合は30代から50代が高くなっています。



### 問3 福井県の治安について、不安に感じるものは何ですか。

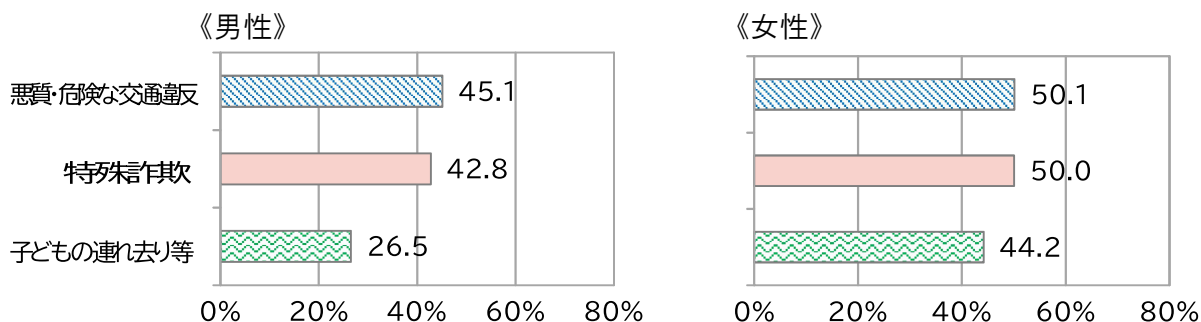
(複数回答可)

- ◇ 「悪質・危険な交通違反」の割合が 47.8%と最も高く、前回調査より 7.4 ポイント増加
- ◇ 「特殊詐欺」、「子どもに対する連れ去り等の事案」の割合は依然として高い

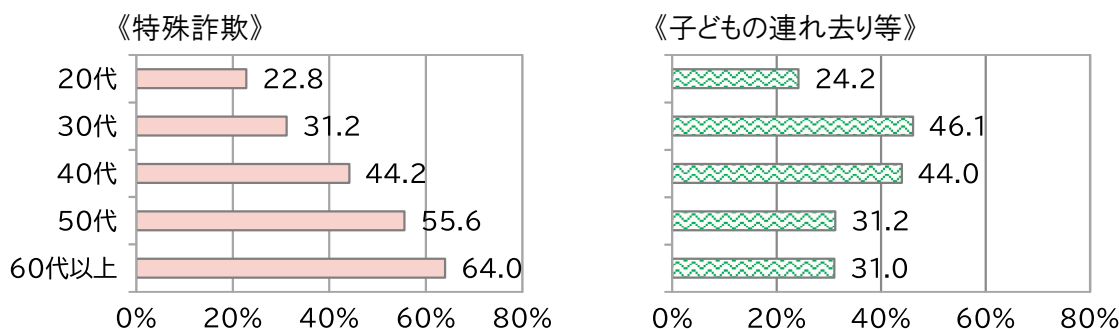


### 特徴

【男女別】 いずれも、男性より女性の割合が高くなっています。



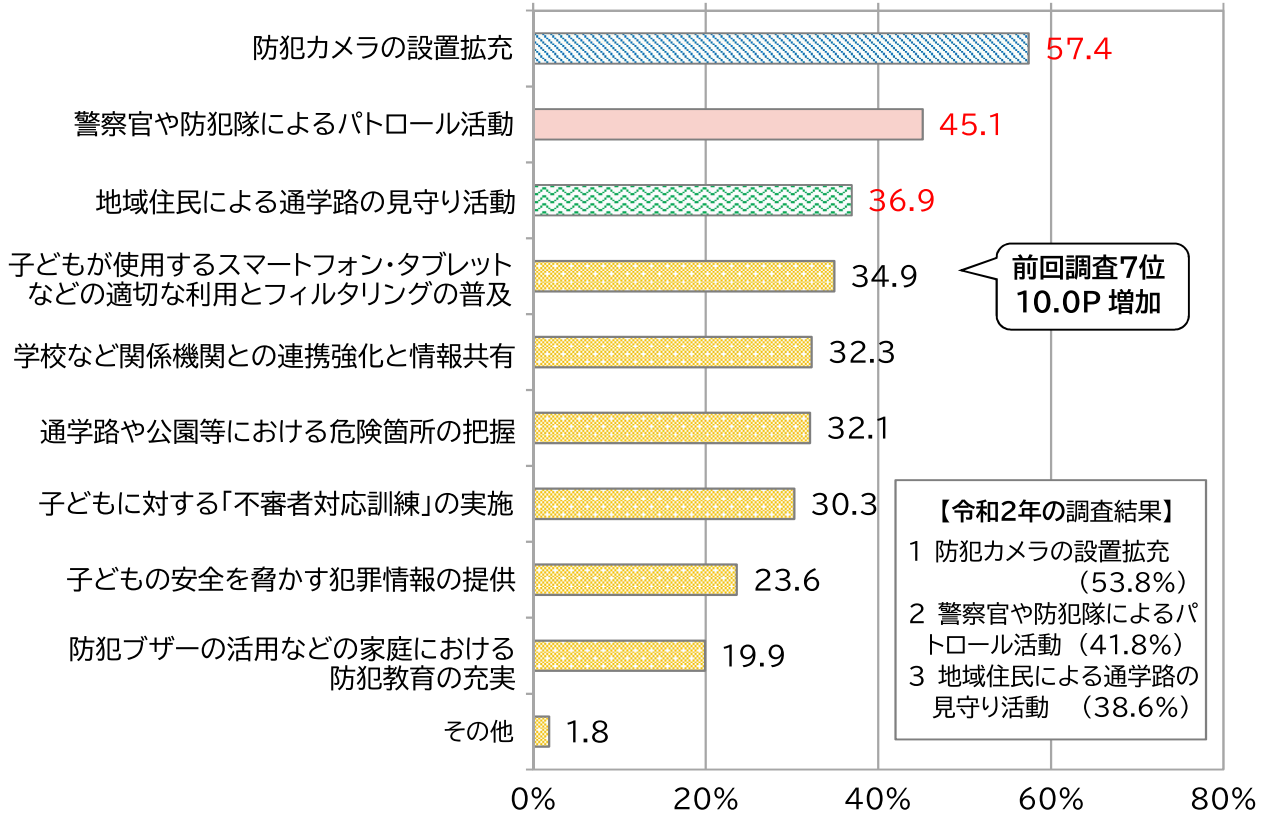
【年代別】 「特殊詐欺」の割合は年代が上がるにつれて高くなっています。  
「子どもの連れ去り等」の割合は 30 代と 40 代が高くなっています。



## 問4 子どもの安全を守るため、もっと強化すべき対策は何ですか。

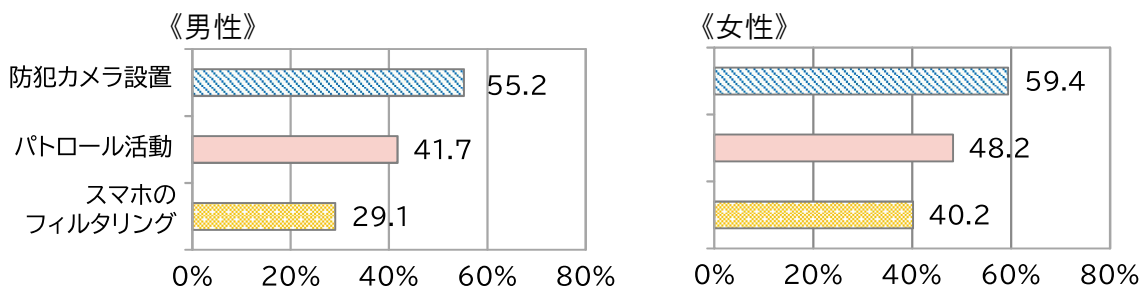
(複数回答可)

- ◇ 「防犯カメラの設置拡充」の割合が 57.4%と最も高い
- ◇ 「子どもが使用するスマートフォン等の適切な利用とフィルタリングの普及」の割合が 34.9%で、前回調査(7位)より 10.0 ポイント増加

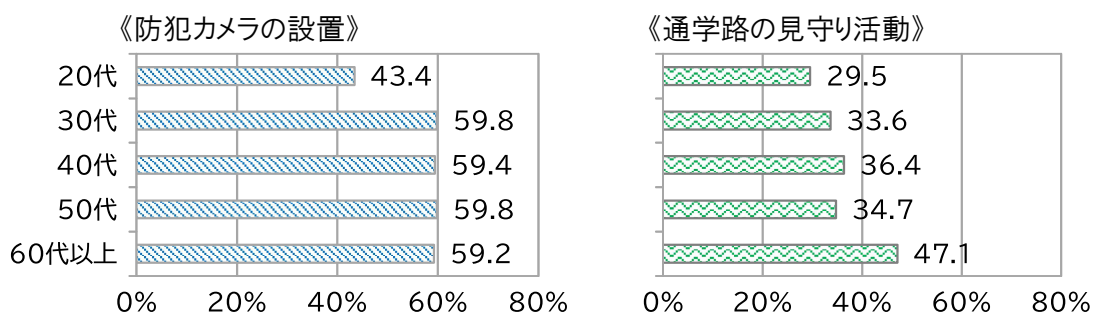


### 特徴

【男女別】 「子どもが使用するスマホなどのフィルタリングの普及等」の割合は、特に、男性より女性が高くなっています。



【年代別】 「防犯カメラの設置」の割合は 30 代から 60 代以上が高くなっています。  
「通学路の見守り活動」の割合は 60 代以上が最も高くなっています。

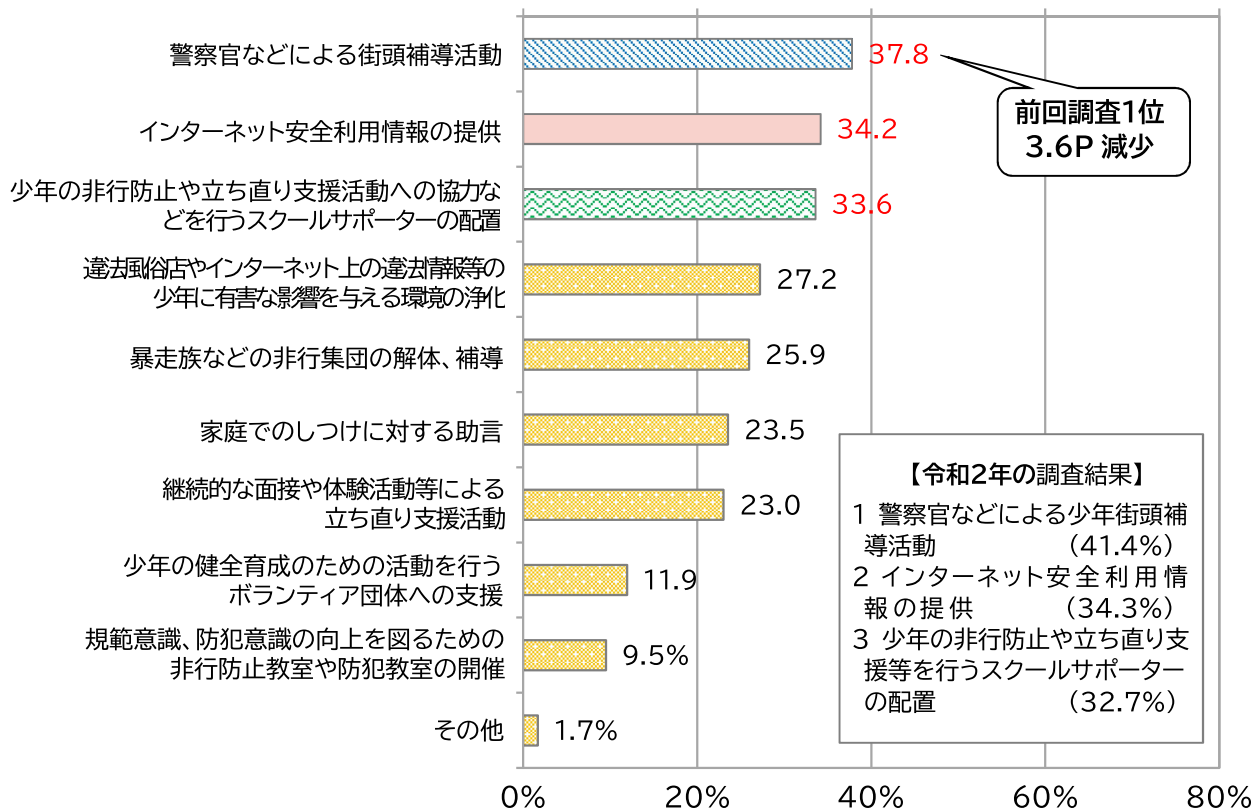




問5 少年の非行を防止するため、もっと強化すべき対策は何ですか。

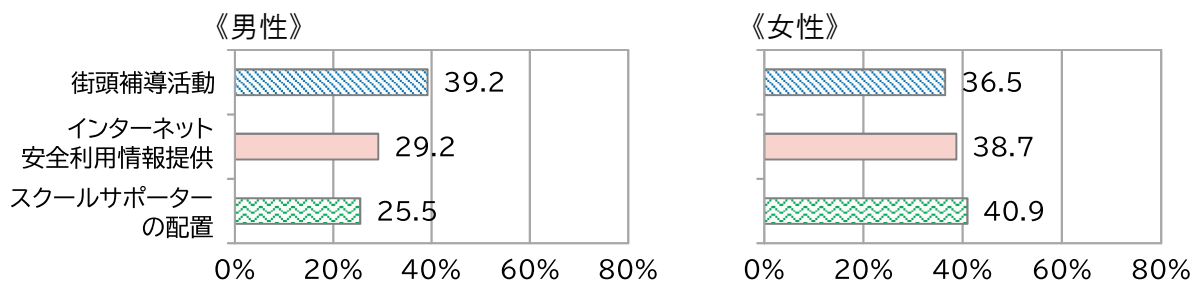
(複数回答可)

◇ 前回調査と同様で、「警察官などによる街頭補導活動」「インターネット安全利用情報の提供」「スクールサポーターの配置」の割合が高い



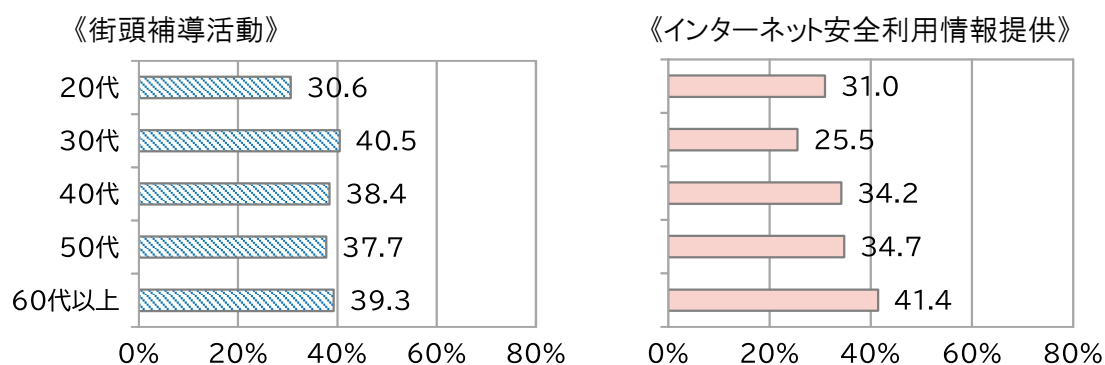
特徴

【男女別】 「街頭補導活動」の割合は女性より男性が高く、「インターネット安全利用情報提供」、「スクールサポーターの配置」の割合は、男性より女性が高くなっています。



【年代別】 「街頭補導活動」の割合は 30 代から 60 代以上が高くなっています。

「インターネット安全利用情報提供」の割合は 60 代以上が最も高くなっています。

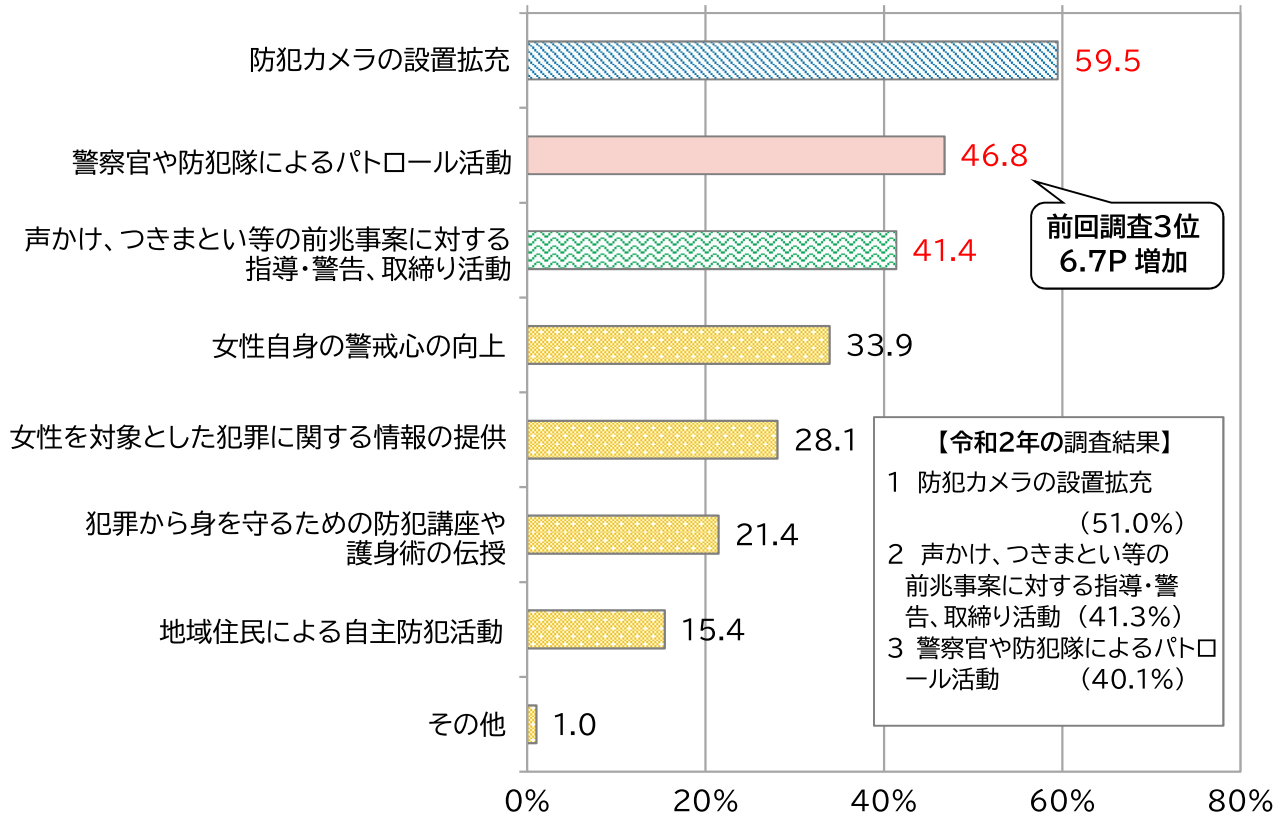


問6 女性を犯罪から守るため、もっと強化すべき対策は何ですか。

(複数回答可)

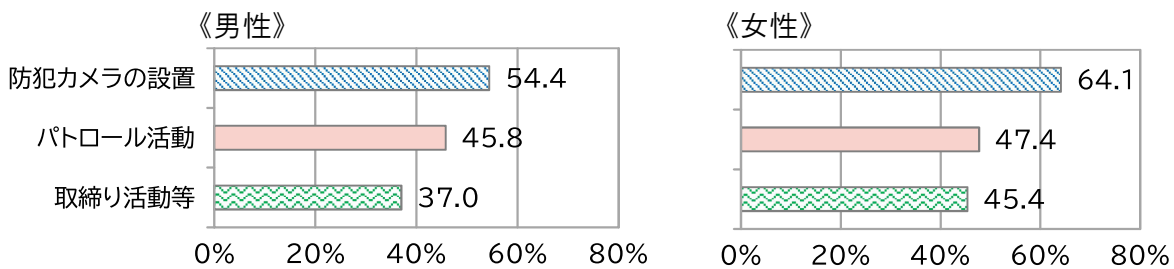
◇ 「防犯カメラの設置拡充」の割合が 59.5%と最も高く、前回調査より 8.5 ポイント増加

◇ 「警察官や防犯隊によるパトロール活動」の割合が、前回調査より 6.7 ポイント増加

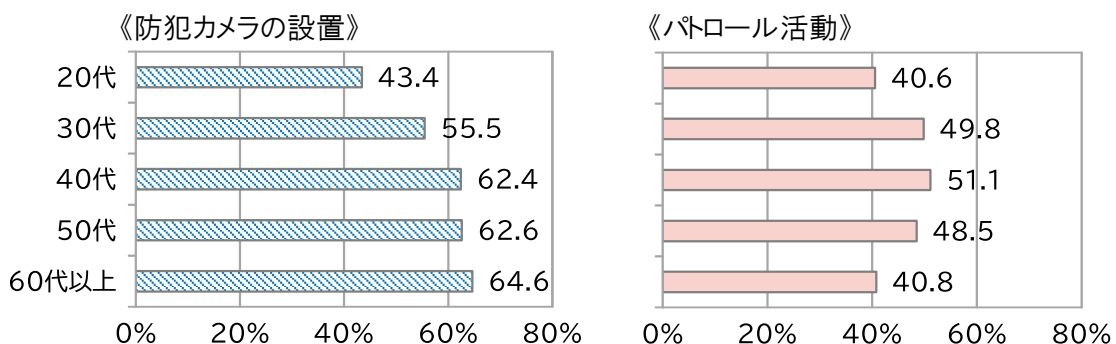


特 徴

【男女別】 男女共に「防犯カメラの設置」の割合が最も高くなっています。  
「防犯カメラの設置」や「取締り活動等」の割合は、特に男性より女性が高くなっています。

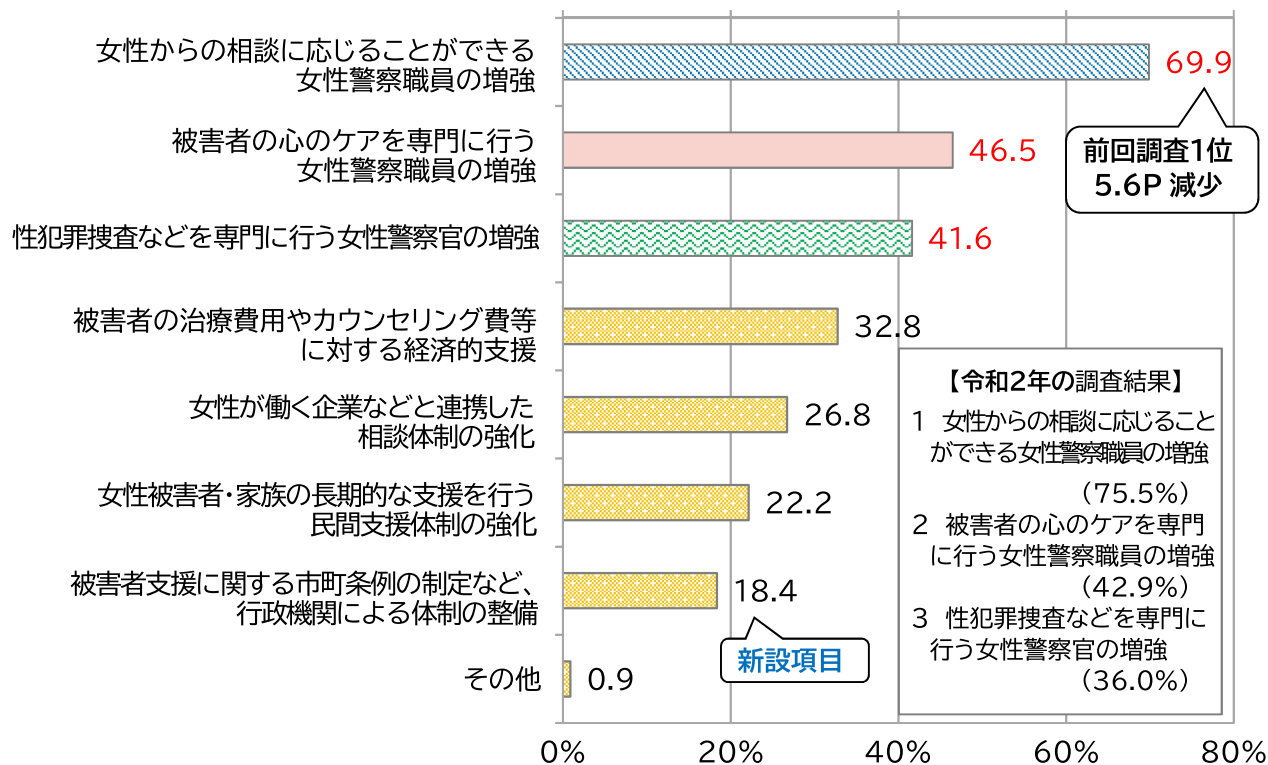


【年代別】 「防犯カメラの設置」の割合は年代が上がるにつれて高くなっています。  
「パトロール活動」の割合は 30 代から 50 代が高くなっています。



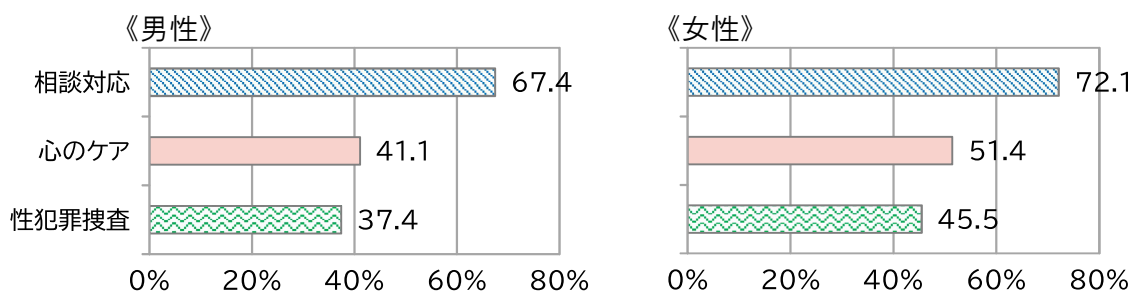
問7 女性被害者の負担を軽減するため、もっと強化すべき対策は何ですか。（複数回答可）

- ◇ 「女性からの相談に応じることができる女性警察職員の増強」の割合が69.9%と最も高いが、前回調査より5.6ポイント減少
- ◇ 「被害者の心のケアを専門に行う女性警察職員の増強」、「性犯罪捜査などを専門に行う女性警察官の増強」の割合は依然として高い

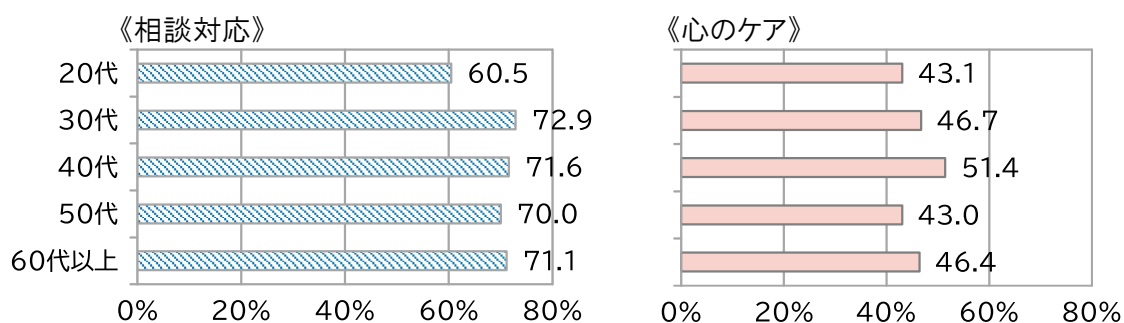


特徴

【男女別】 「相談対応」、「心のケア」、「性犯罪捜査」の割合は、いずれも男性より女性が高く、特に「心のケア」の割合が男性を大幅に(10.3ポイント)上回っています。



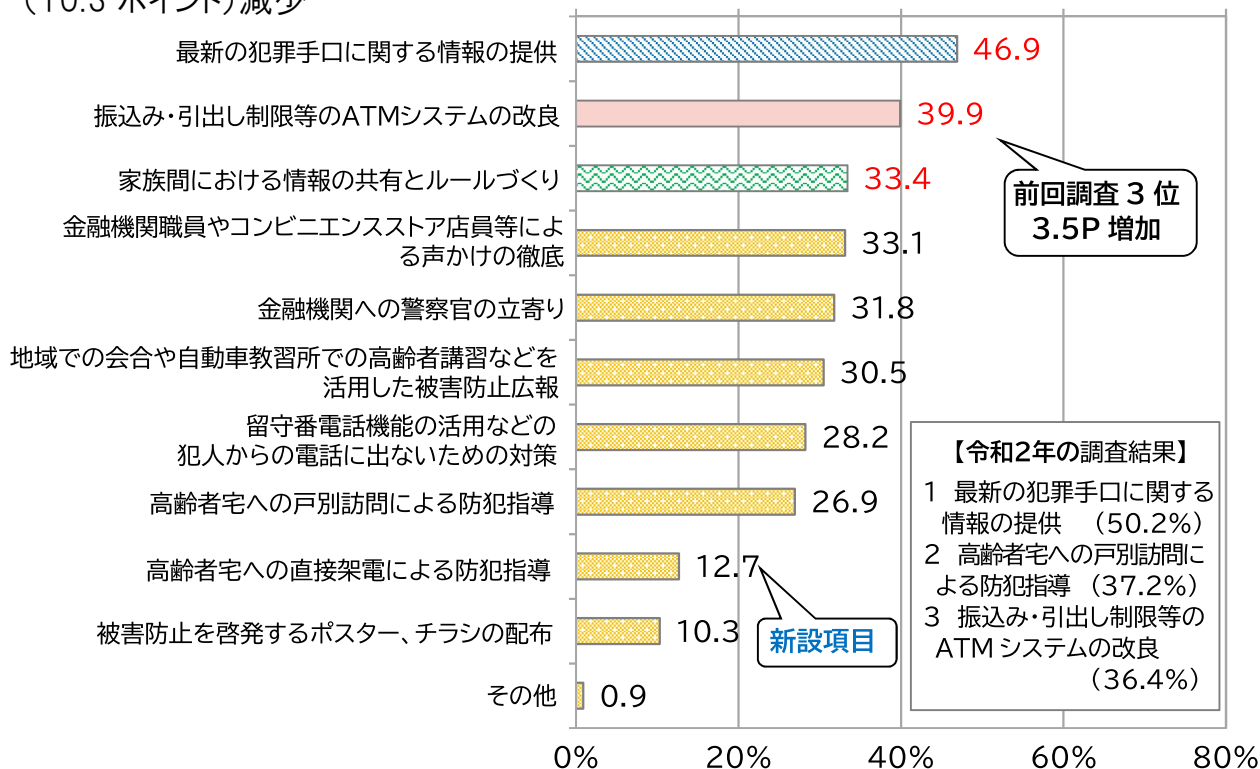
【年代別】 「相談対応」の割合は30代から60代以上で70%を超え、特に高くなっています。「心のケア」の割合は40代で最も高くなっています。



問8 オレオレ詐欺、還付金詐欺などの特殊詐欺の被害に遭わないため、もっと強化すべき対策は何ですか。（複数回答可）

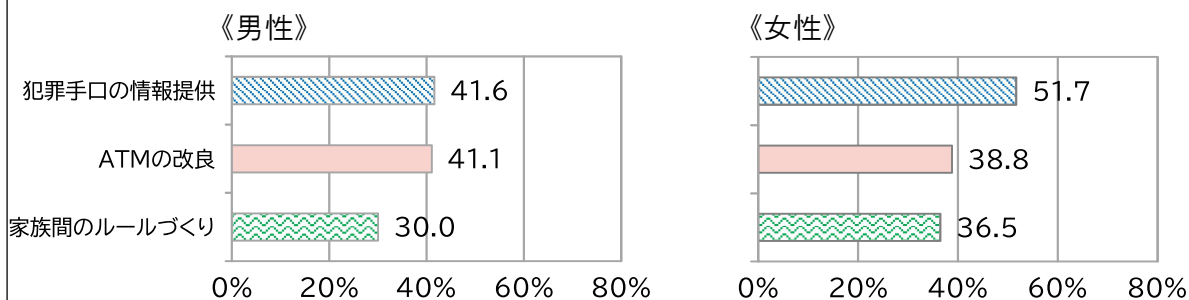
◇ 「最新の犯罪手口に関する情報の提供」の割合が 46.9%と最も高いが、前回調査より 3.3 ポイント減少

◇ 「高齢者宅への戸別訪問による防犯指導」の割合が前回調査(2位)より大幅に(10.3ポイント)減少



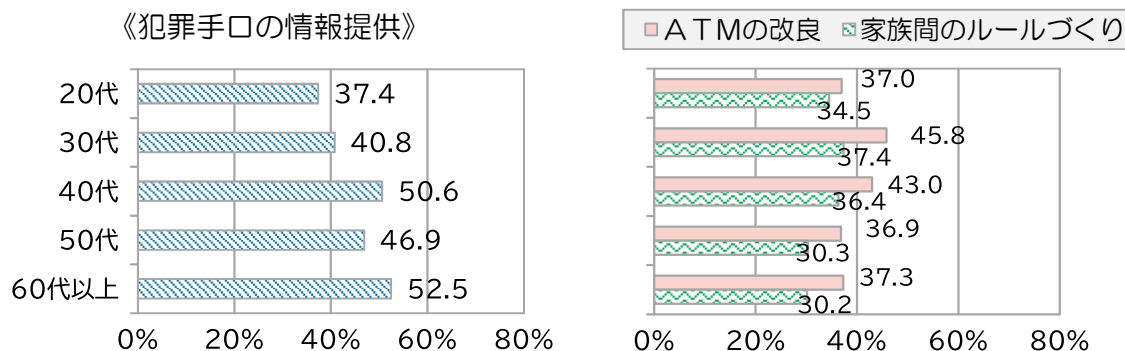
特徴

【男女別】 「犯罪手口の情報提供」の割合は女性が男性を大幅に(10.1ポイント)上回っています。



【年代別】 「犯罪手口の情報提供」の割合は 60 代以上で高くなっています。

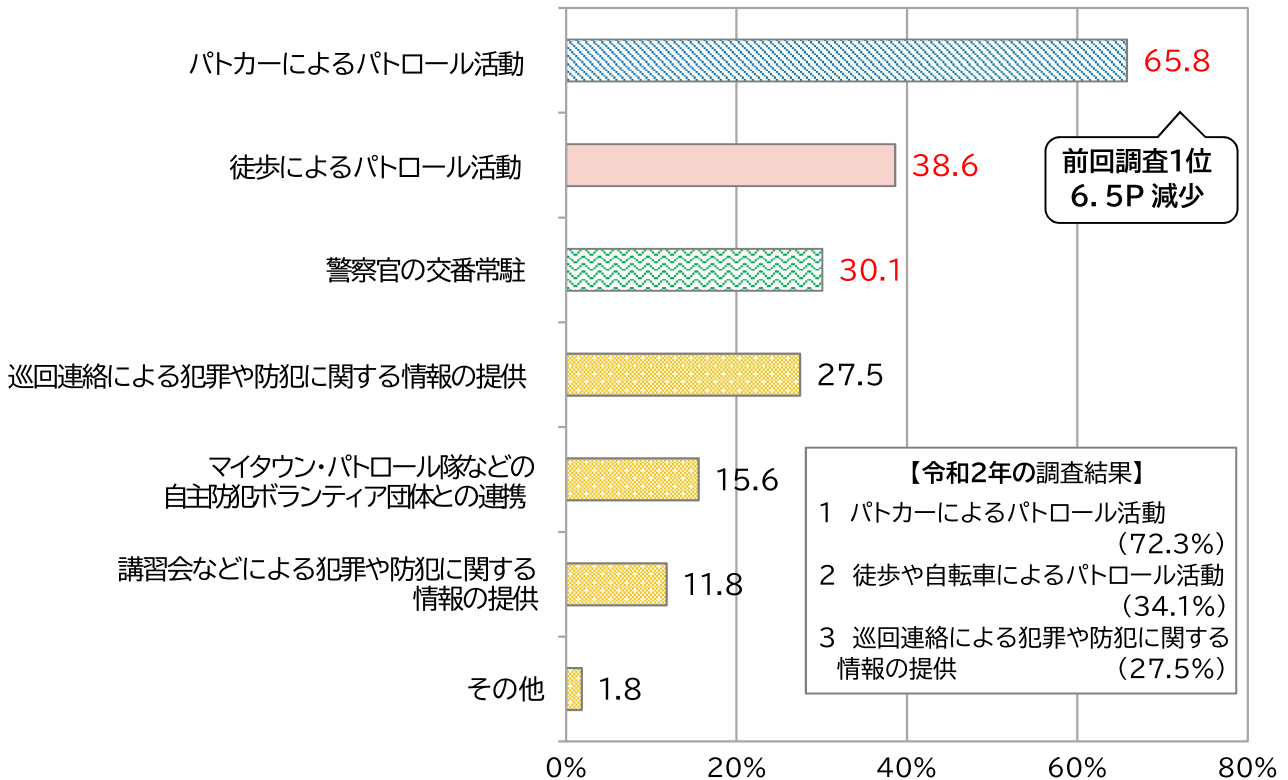
「ATMの改良」、「家族間のルールづくり」の割合は 30 代と 40 代で高くなっています。



問9 自転車盗、車上ねらい、器物損壊等の身近で発生する犯罪への対策として、特に力をいれてほしいと思う警察の活動は何ですか。

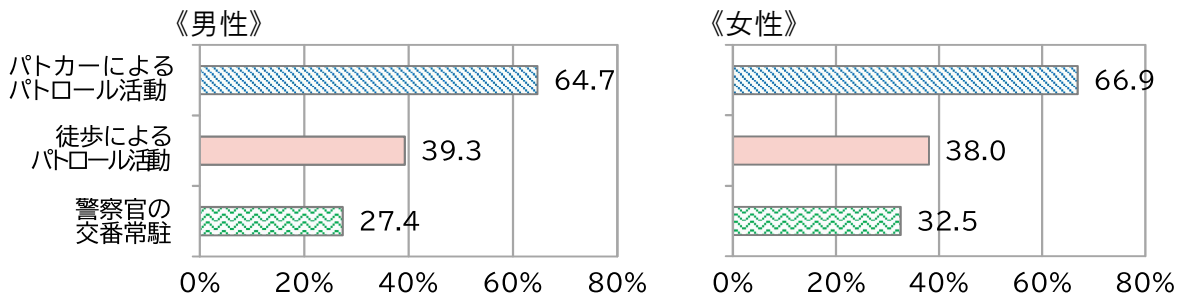
(複数回答可)

- ◇ 「パトカーによるパトロール活動」の割合が65.8%と最も高いが、前回調査より6.5ポイント減少
- ◇ 「警察官の交番常駐」の割合が前回調査(4位)より3.8ポイント増加



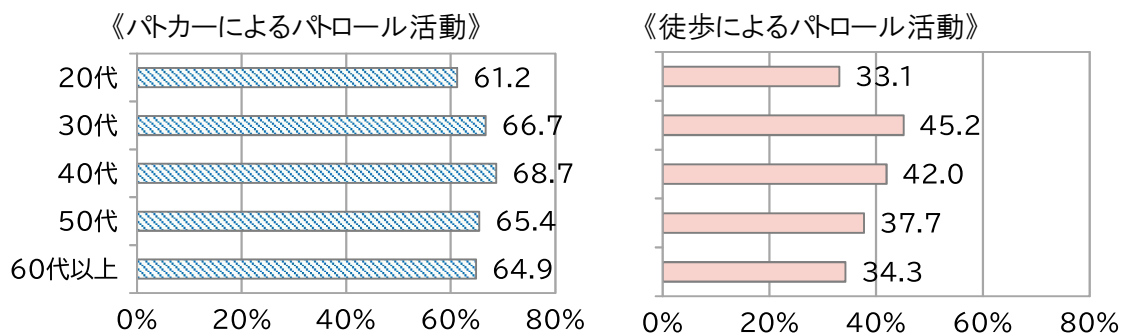
### 特徴

【男女別】 「警察官の交番常駐」の割合は、特に、男性より女性が高くなっています。



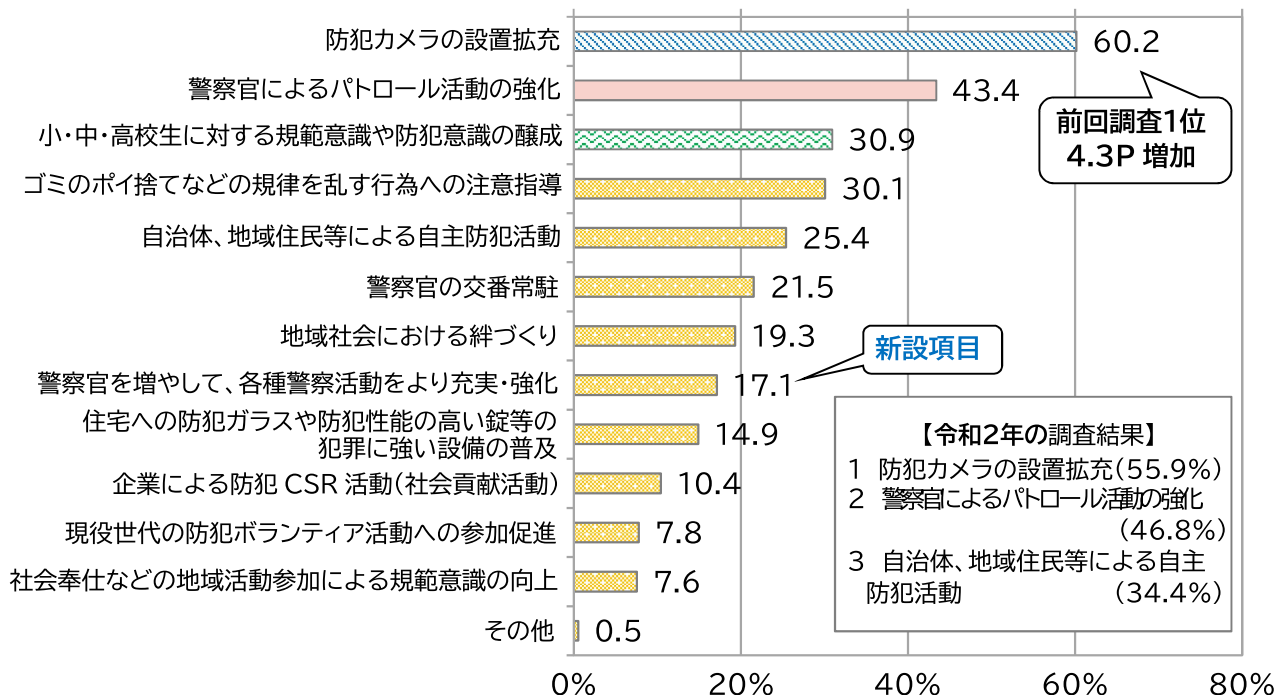
【年代別】 「パトカーによるパトロール活動」の割合は全ての年代で60%を超え、高くなっています。

「徒歩によるパトロール活動」の割合は30代と40代で高くなっています。



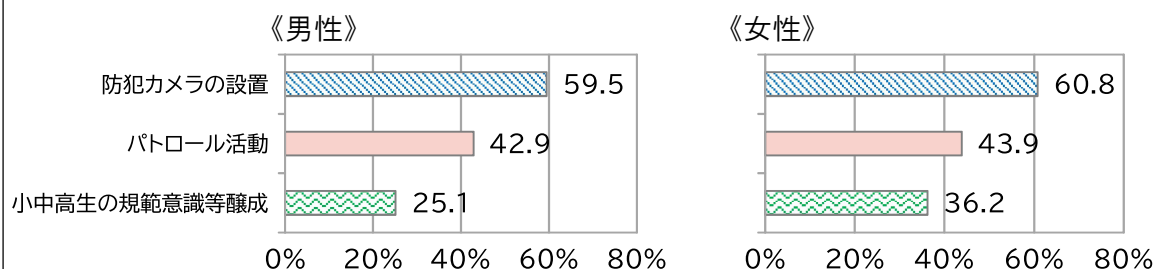
問 10 福井県における今後の高速交通網整備に伴う交流人口の増加など、社会情勢の変化を踏まえて、犯罪の起きにくい社会をつくるためには何が必要だと思いますか。（複数回答可）

- ◇ 「防犯カメラの設置拡充」の割合が 60.2%と最も高く、前回調査より 4.3 ポイント増加
- ◇ 「防犯カメラの設置拡充」と「警察官を増やして、各種警察活動をより充実・強化」(新設項目)を除く全ての割合が前回調査より減少。特に、「自治体、地域住民等による自主防犯活動」の割合が前回調査より大幅に(9.0 ポイント)減少

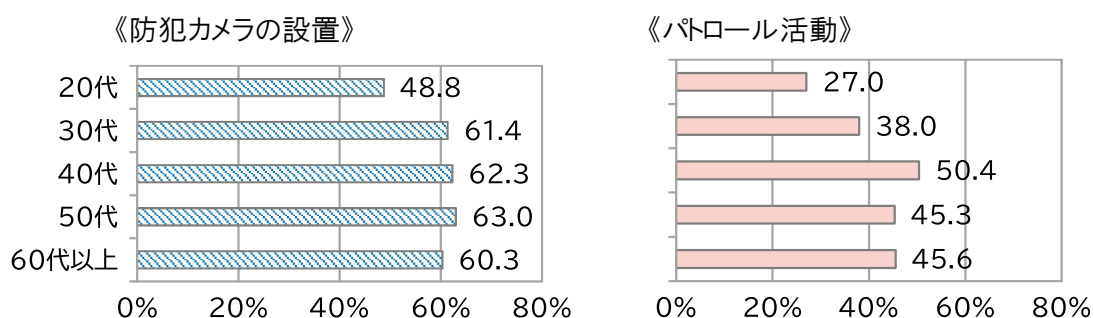


## 特徴

【男女別】 「防犯カメラの設置」、「パトロール活動」、「小中高生の規範意識等醸成」の割合は、いずれも男性より女性が高く、特に「小中高生の規範意識等醸成」の割合が男性を大幅に(11.1 ポイント)上回っています。



【年代別】 「防犯カメラの設置」の割合は 30 代以上が高くなっています。  
「パトロール活動」の割合は 40 代が高くなっています。

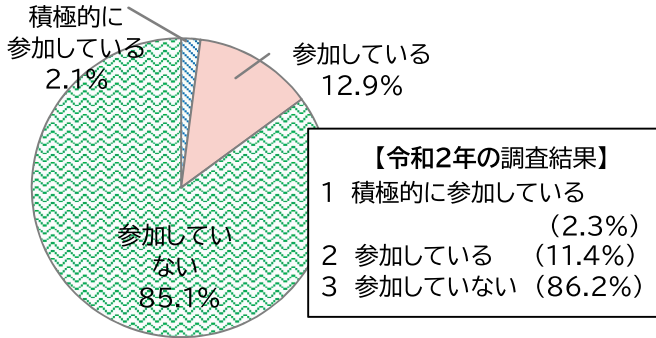


問 11 あなたは地域の防犯活動（見守り活動を含む）に参加していますか。

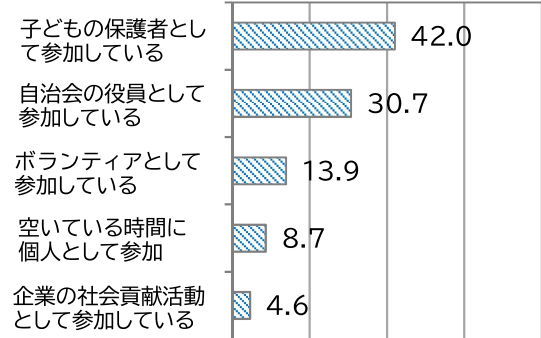
◇ 「積極的に参加している」、「参加している」の合計の割合が全体の 15.0%（約7人に1人）を占め、前回調査より 1.3 ポイント増加

◇ 「子どもの保護者として参加している」、「自治会の役員として参加している」の合計の割合が参加者全体の約7割を占めている

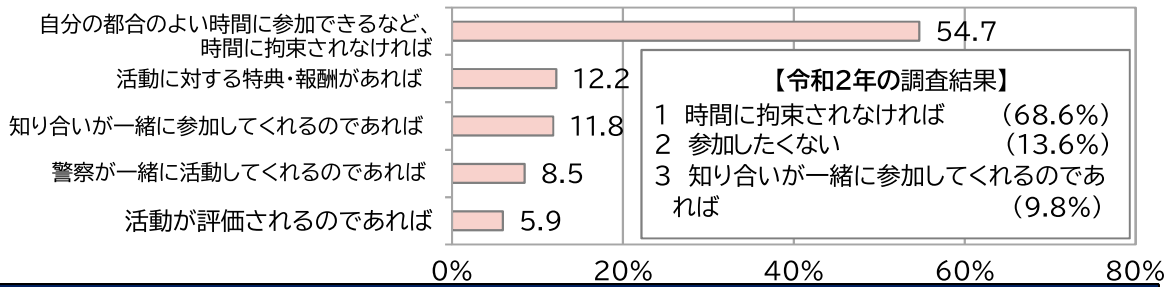
【見守り活動に参加していますか。（複数回答可）】



【どのような立場で参加(複数回答可)】



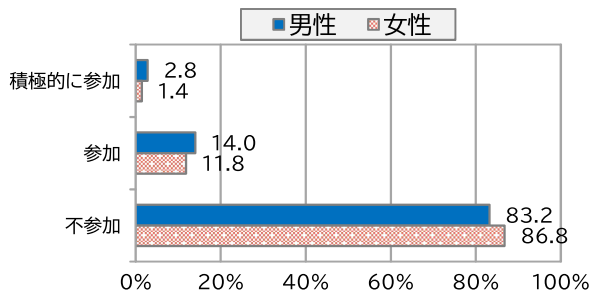
【参加しやすい環境は(複数回答可)】



特 徴

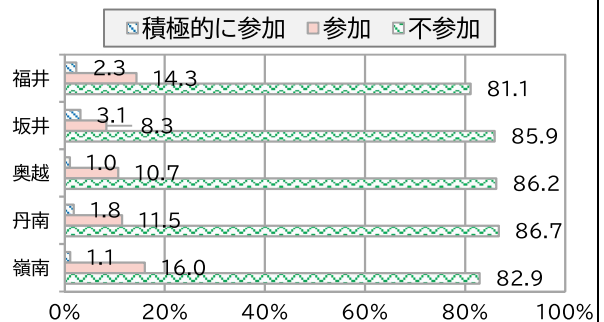
【男女別】

参加率は女性より男性が高く、男性は約6人に1人、女性は約8人に1人となっています。



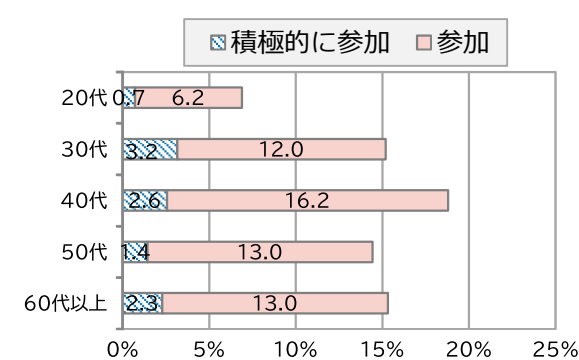
【地域別】

参加率は嶺南ブロックが最も高くなっています。



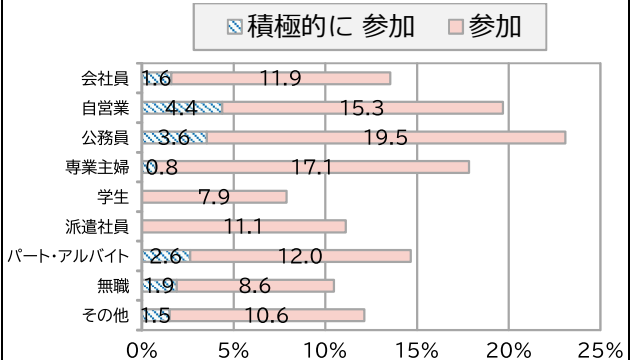
【年代別】

参加率は40代が最も高く(約5人に1人)、20代が最も低く(約14人に1人)となっています。



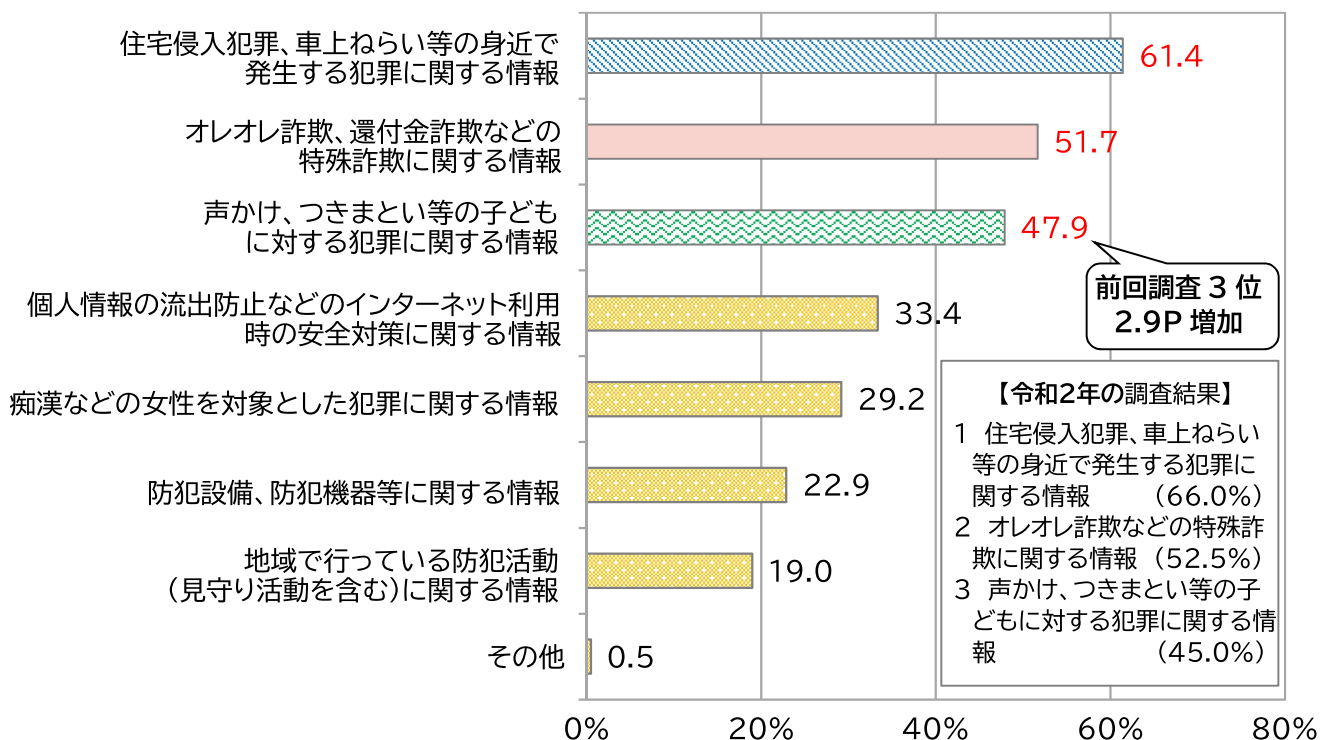
【職業別】

参加率は公務員が最も高く(約4人に1人)、次いで自営業(約5人に1人)となっています。



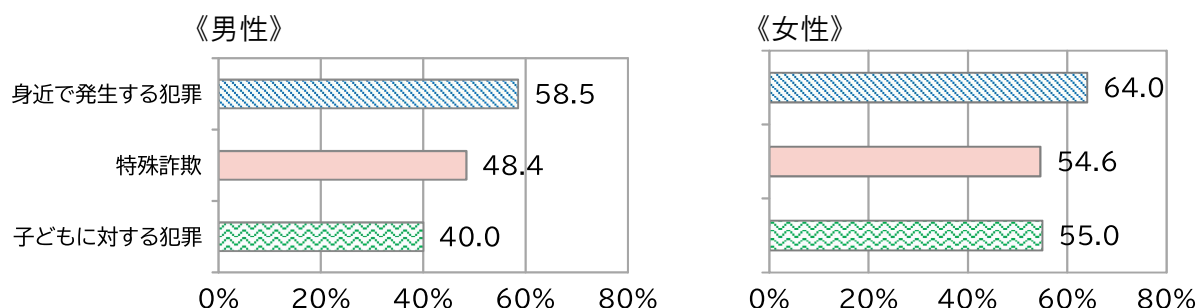
問 12 犯罪の被害を防止するため、どのような情報が提供されたら良い  
 と思いますか。（複数回答可）

- ◇ 「身近で発生する犯罪に関する情報」の割合が 61.4%と最も高いが、前回調査より 4.6 ポイント減少
- ◇ 「特殊詐欺に関する情報」が前回調査より 0.8 ポイント減少し、「子どもに対する犯罪に関する情報」が前回調査より 2.9 ポイント増加

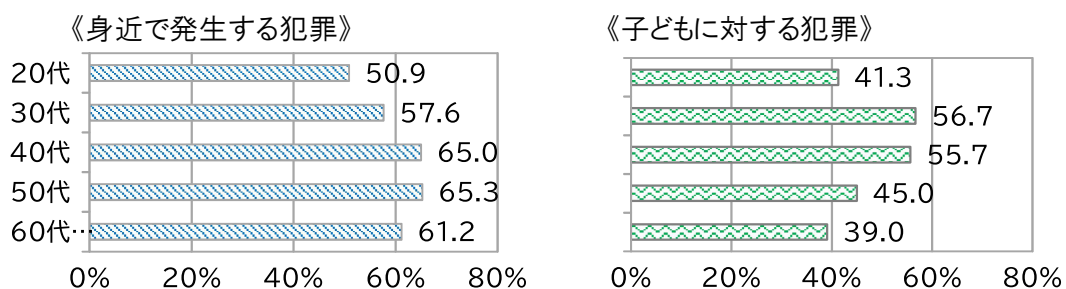


特 徴

【男女別】 男女共に「身近で発生する犯罪」の割合が高く、各項目で男性より女性の割合が高くなっています。



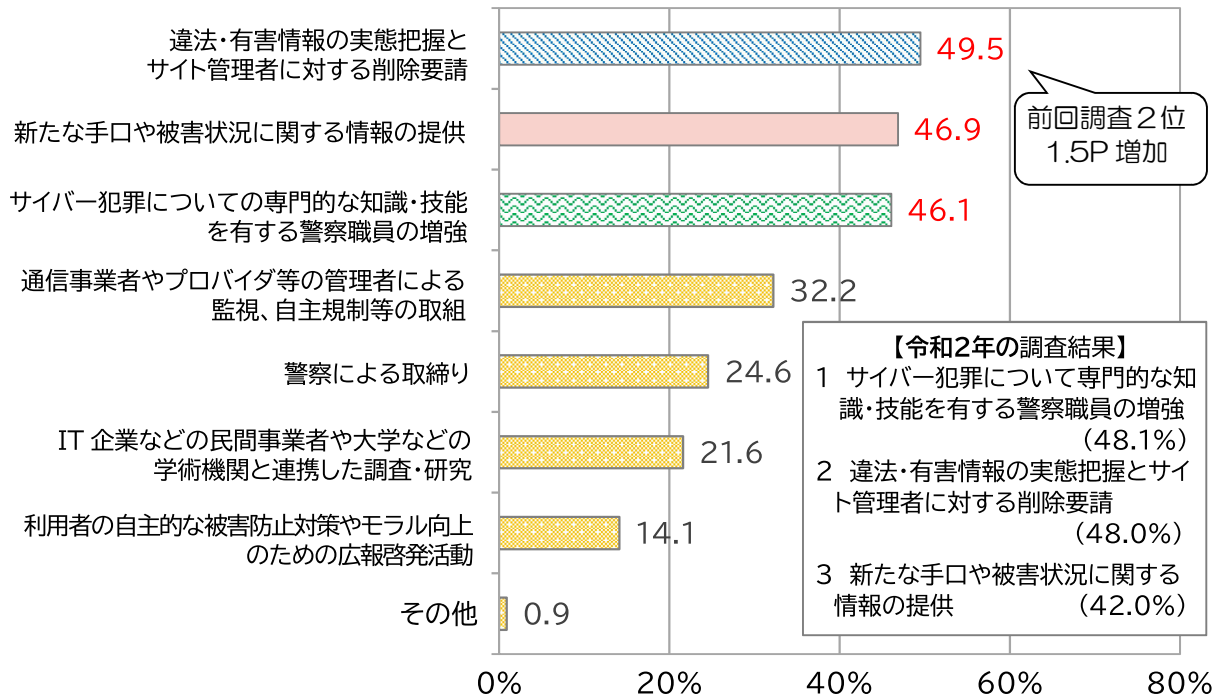
【年代別】 「身近で発生する犯罪」の割合は 40 代から 60 代以上が特に高くなっています。「子どもに対する犯罪」の割合は 30 代、40 代で高くなっています。





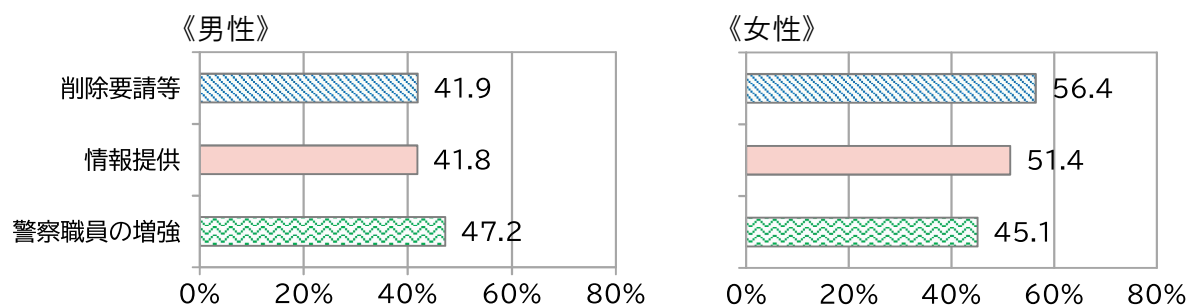
問 13 インターネットを利用した犯罪等のサイバー犯罪への対策として、もっと強化すべき対策は何ですか。（複数回答可）

- ◇ 「違法・有害情報の実態把握とサイト管理者に対する削除要請」の割合が 49.5%と最も高く、前回調査より 1.5 ポイント増加
- ◇ 「新たな手口や被害状況に関する情報の提供」の割合が前回調査より 4.9 ポイント増加し、「サイバー犯罪についての専門的な知識・技能を有する警察職員の増強」の割合が前回調査より 2.0 ポイント減少

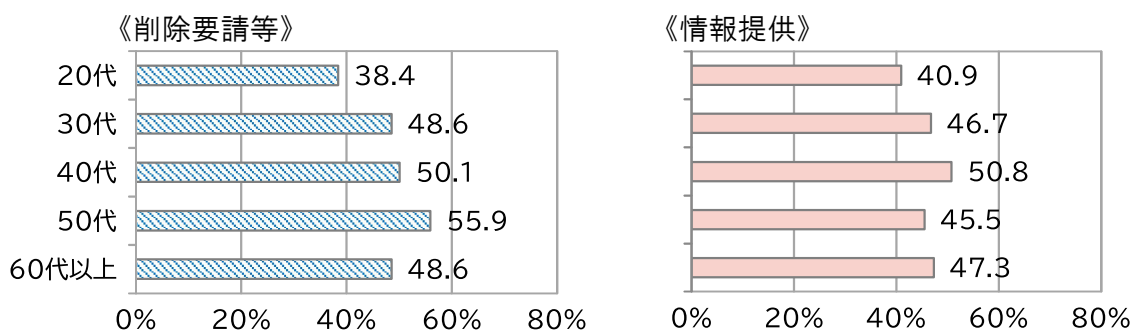


特 徴

【男女別】 女性は男性に比べて「削除要請等」、「情報提供」の割合が高く、特に「削除要請等」は、男性より 14.5 ポイント高く、最多となっています。

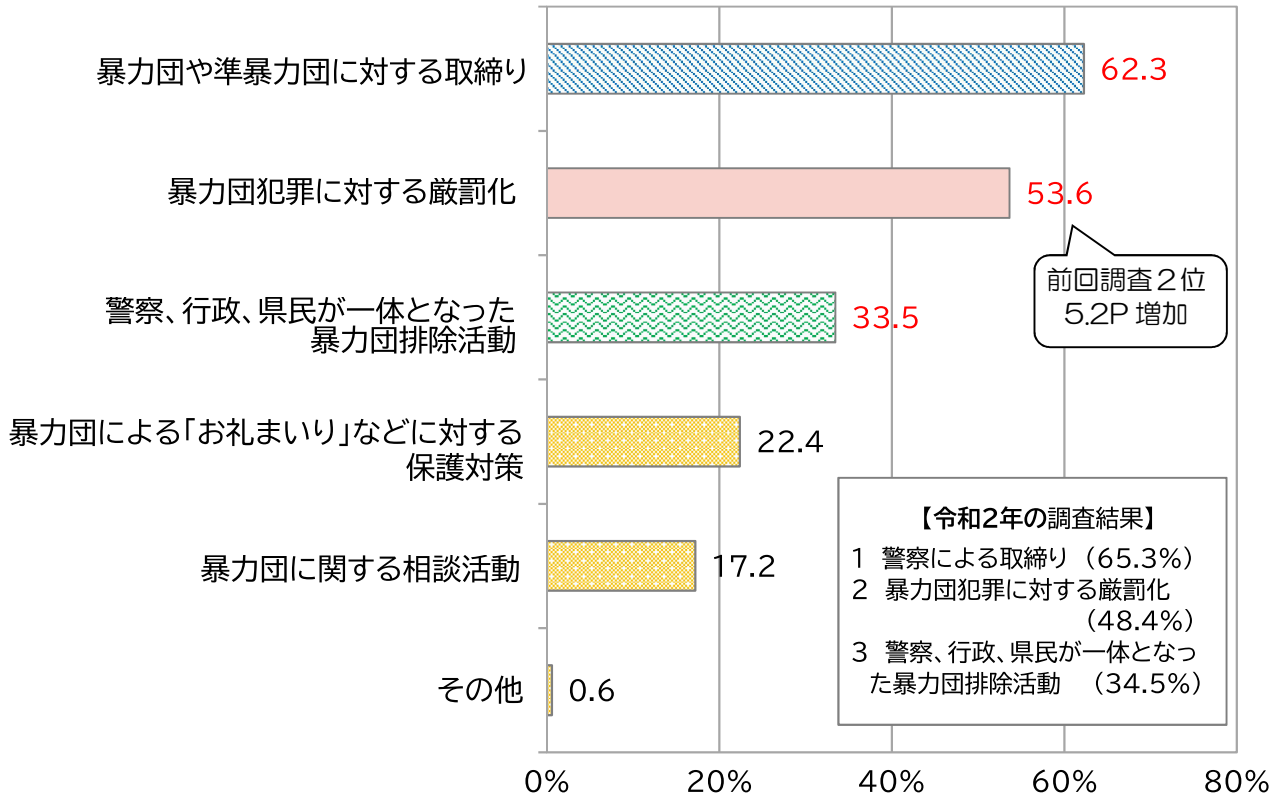


【年代別】 「削除要請等」の割合は 50 代が最も高くなっています。  
「情報提供」の割合は 40 代が特に高くなっています。



問 14 暴力団対策として、もっと強化すべき対策は何ですか。（複数回答可）

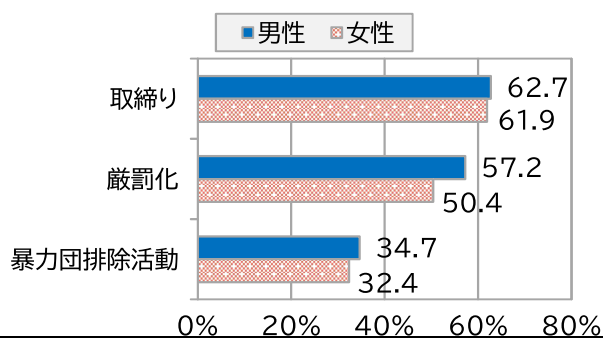
- ◇ 「暴力団や準暴力団に対する取締り」の割合が 62.3%と最も高いが、前回調査より 3.0 ポイント減少
- ◇ 「暴力団犯罪に対する厳罰化」の割合が前回調査より 5.2 ポイント増加



特 徴

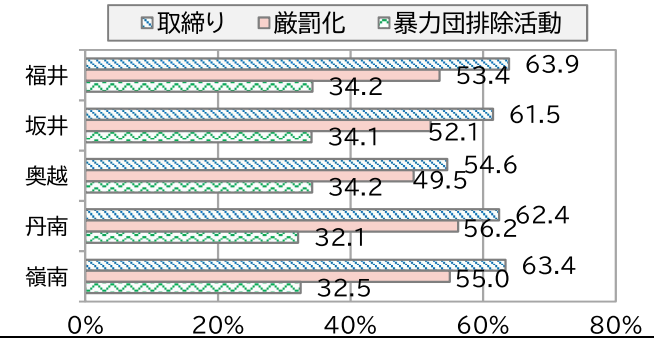
【男女別】

各項目で女性より男性の割合が高くなっています。



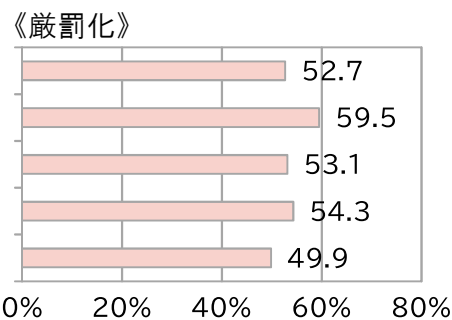
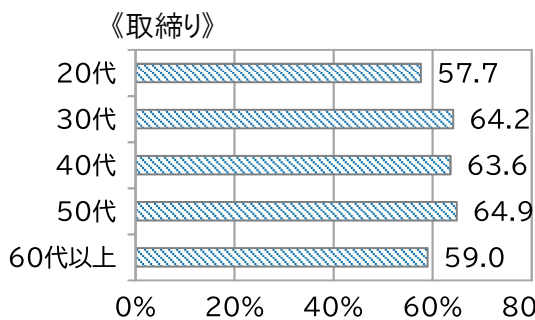
【地域別】

「取締り」、「暴力団排除活動」の割合は福井ブロックが最も高くなっています。



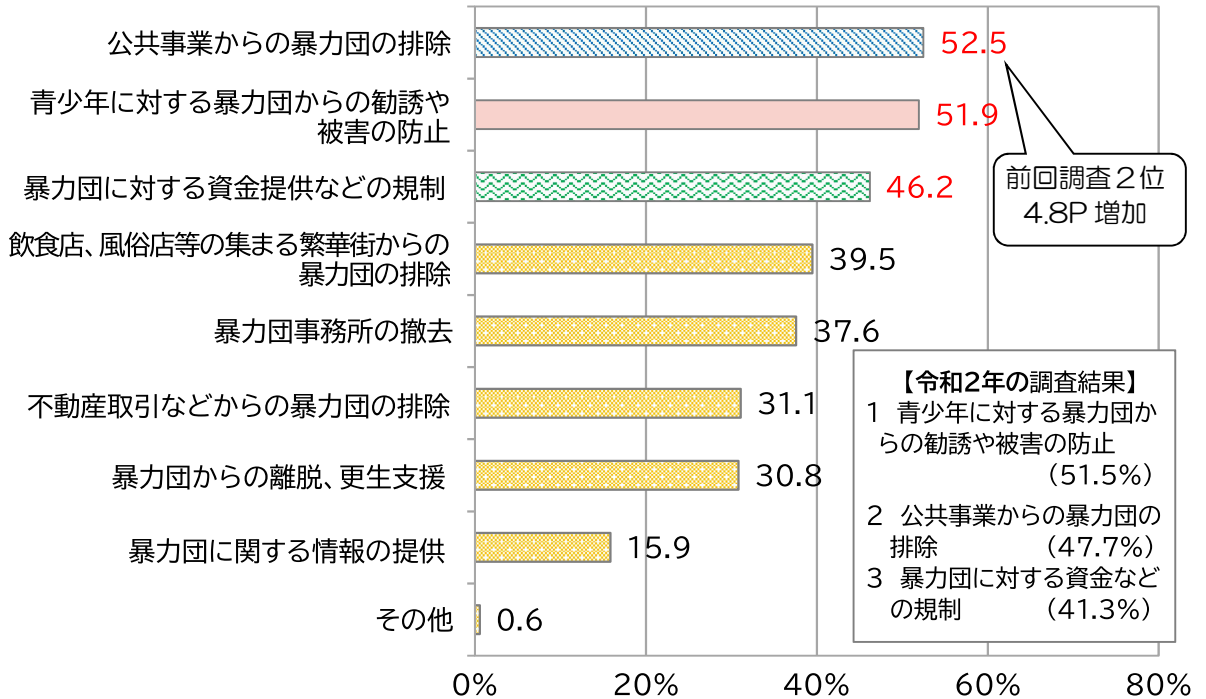
【年代別】

「取締り」は 50 代、「厳罰化」は 30 代が最も高くなっています。



問 15 暴力団排除活動を促進するために警察に期待する対策は何ですか。  
(複数回答可)

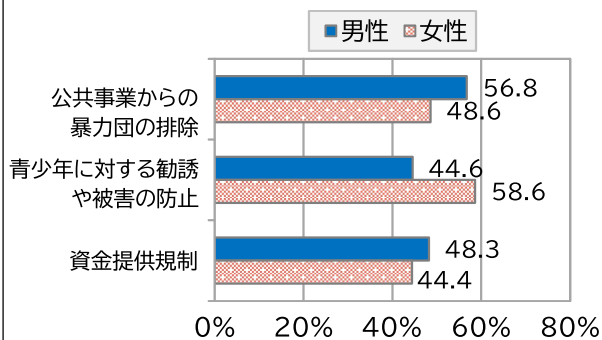
- ◇ 「公共事業からの暴力団の排除」の割合が 52.5%と最も高く、前回調査より 4.8 ポイント増加
- ◇ 全ての項目の割合が前回調査より増加



特 徴

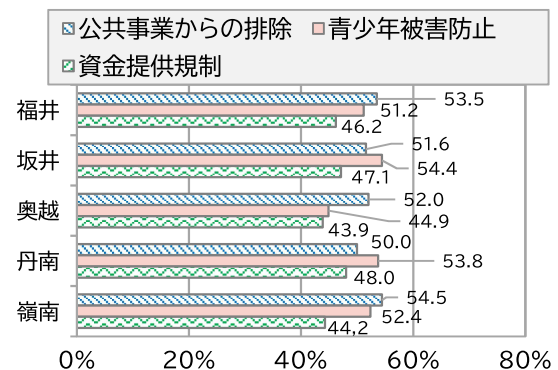
【男女別】

「青少年に対する勧誘や被害の防止」の割合は男性より女性が高くなっています。



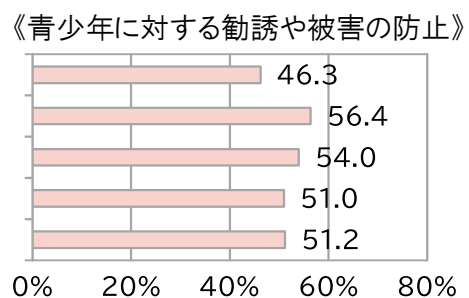
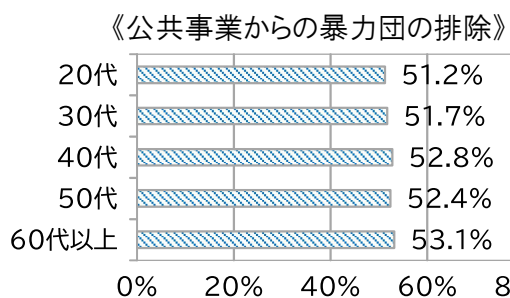
【地域別】

「青少年に対する勧誘や被害の防止」の割合は坂井、丹南ブロックが特に高くなっています。



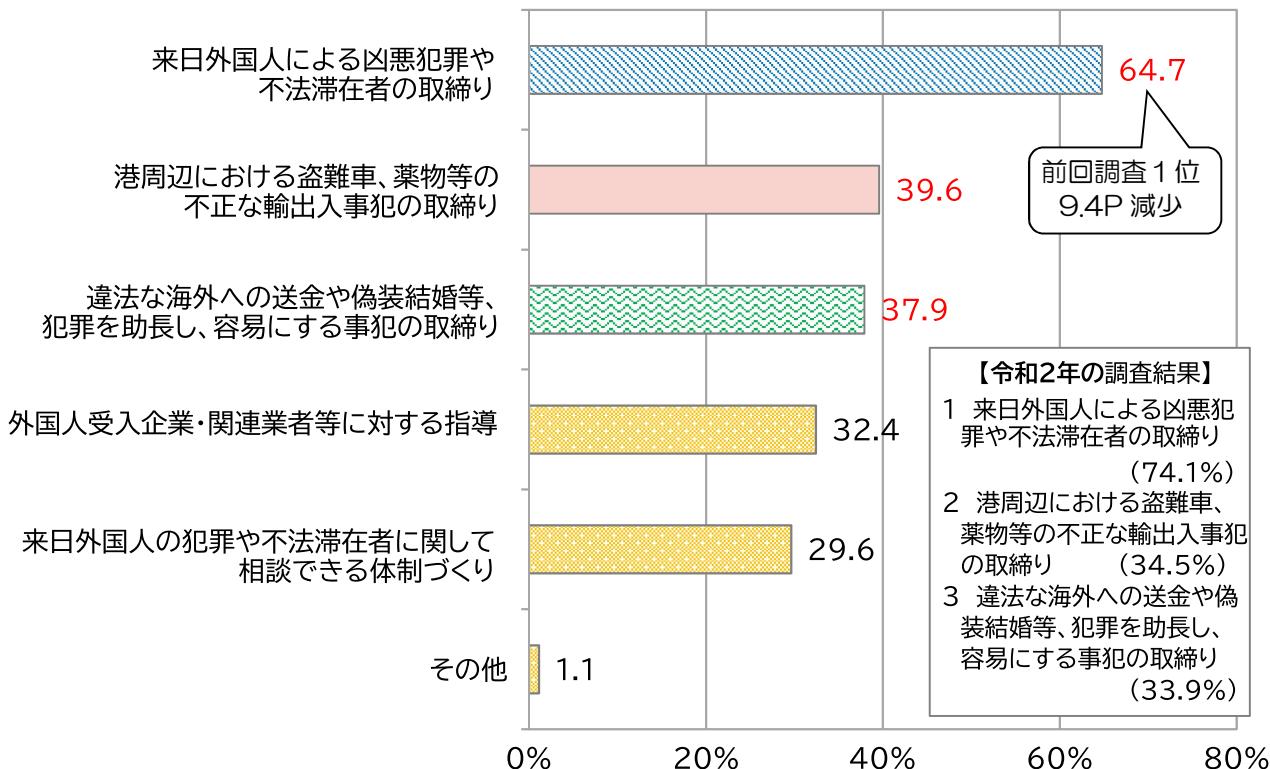
【年代別】

「公共事業からの暴力団の排除」の割合は全ての年代で 50%以上と高くなっています。  
「青少年に対する勧誘や被害の防止」は 30代と 40代で特に高くなっています。



問 16 来日外国人の犯罪や不法滞在者対策として、もっと強化すべき対策は何ですか。（複数回答可）

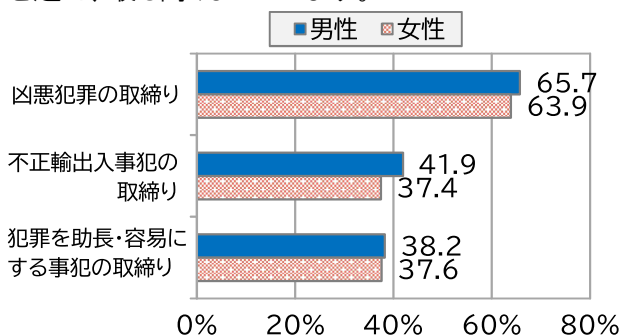
◇ 「来日外国人による凶悪犯罪や不法滞在者の取締り」、「違法な海外への送金や偽装結婚等、犯罪を助長し、容易にする犯罪の取締り」、「港周辺における盗難車、薬物等の不正な輸出入事犯の取締り」の割合は依然として高い



特 徴

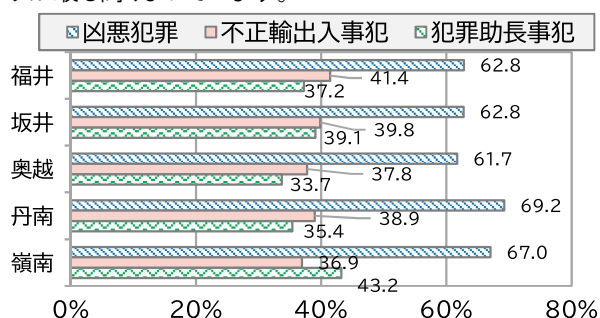
【男女別】

男女共に「凶悪犯罪等の取締り」の割合は60%を超え、最も高くなっています。



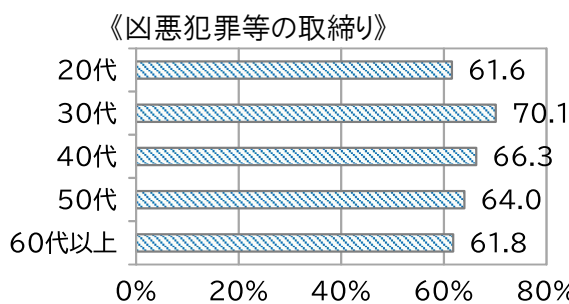
【地域別】

「凶悪事犯等の取締り」の割合は丹南ブロック、「犯罪を助長・容易にする事犯の取締り」の割合は嶺南ブロックが最も高くなっています。

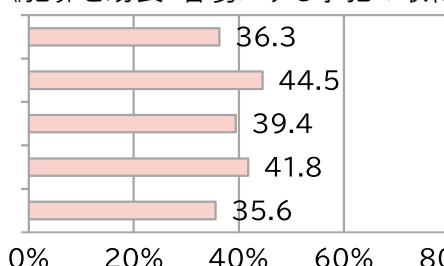


【年代別】

「凶悪犯罪等の取締り」、「犯罪を助長・容易にする事犯の取締り」共に30代が最も高く、特に、「凶悪犯罪等の取締り」の割合は70%を超え高くなっています。



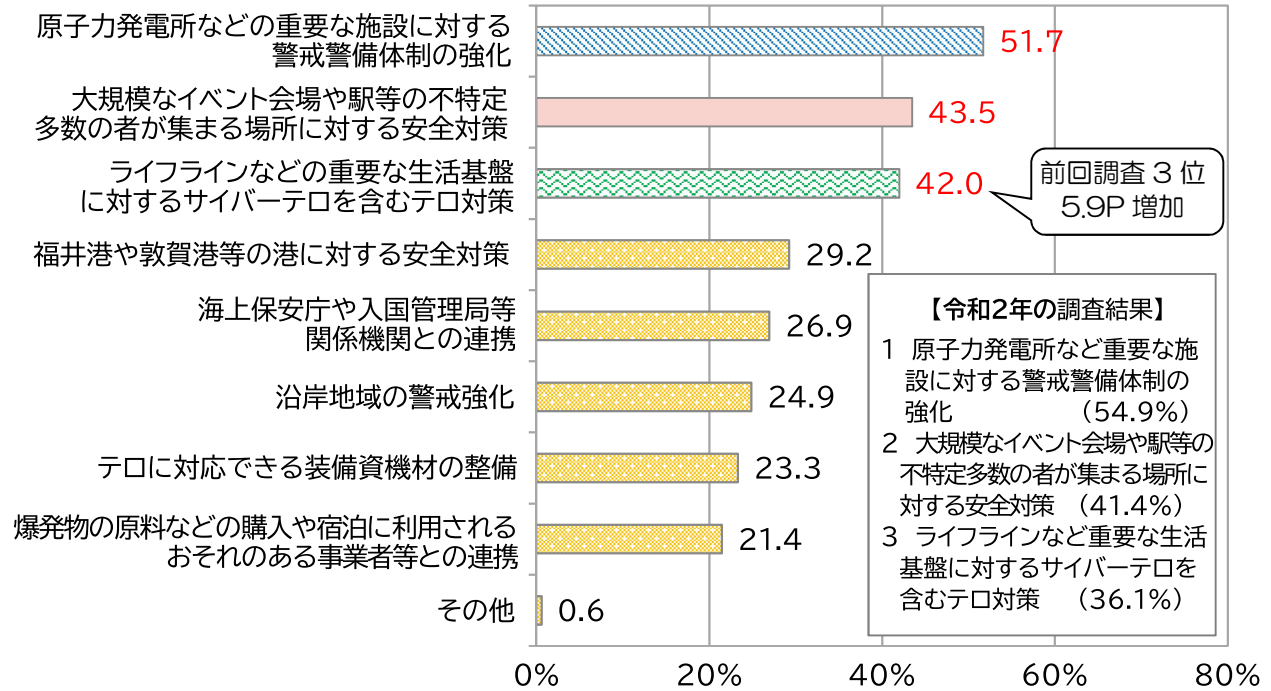
《犯罪を助長・容易にする事犯の取締り》



問 17 テロを防止するため、警察に期待する対策は何ですか。（複数回答可）

◇ 「重要な施設に対する警戒警備体制の強化」の割合が 51.7%と最も高いが、前回調査より 3.2 ポイント減少

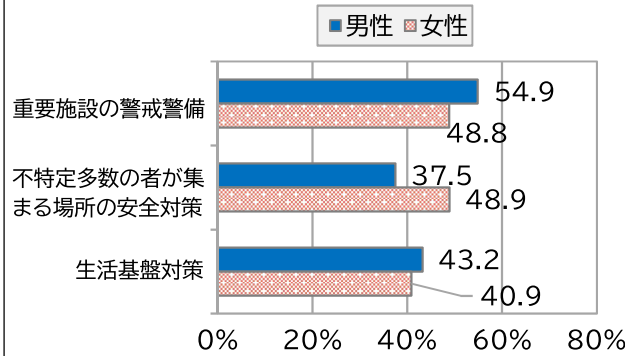
◇ 「不特定多数の者が集まる場所に対する安全対策」、「重要な生活基盤に対するテロ対策」の割合は依然として高く、前回調査よりいずれも増加



特 徴

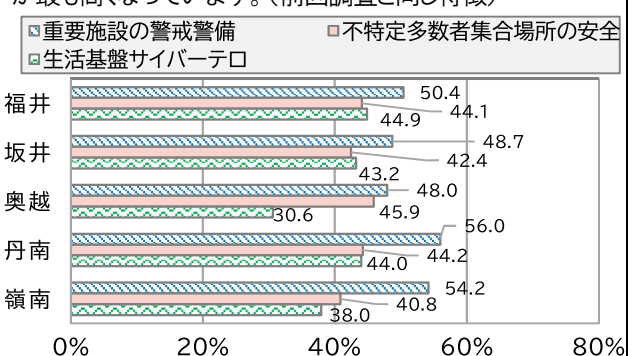
【男女別】

「不特定多数の者が集まる場所の安全対策」の割合は男性より女性が高くなっています。（前回調査と同じ特徴）



【地域別】

「重要施設の警戒警備」の割合は丹南ブロック、「不特定多数の者が集まる場所の安全対策」の割合は奥越ブロックが最も高くなっています。（前回調査と同じ特徴）

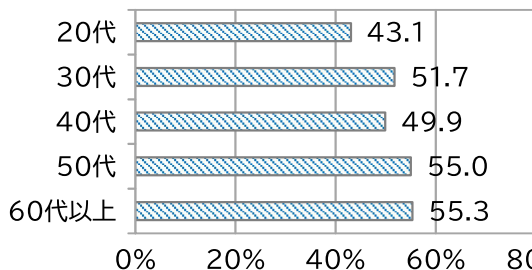


【年代別】

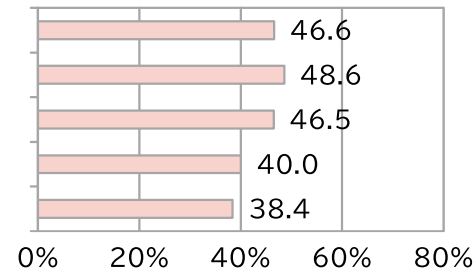
「重要施設の警戒警備」の割合は 50 代～60 代以上が高くなっています。

「不特定多数の者が集まる場所の安全対策」の割合は 20 代～40 代が高くなっています。

《重要施設の警戒警備》

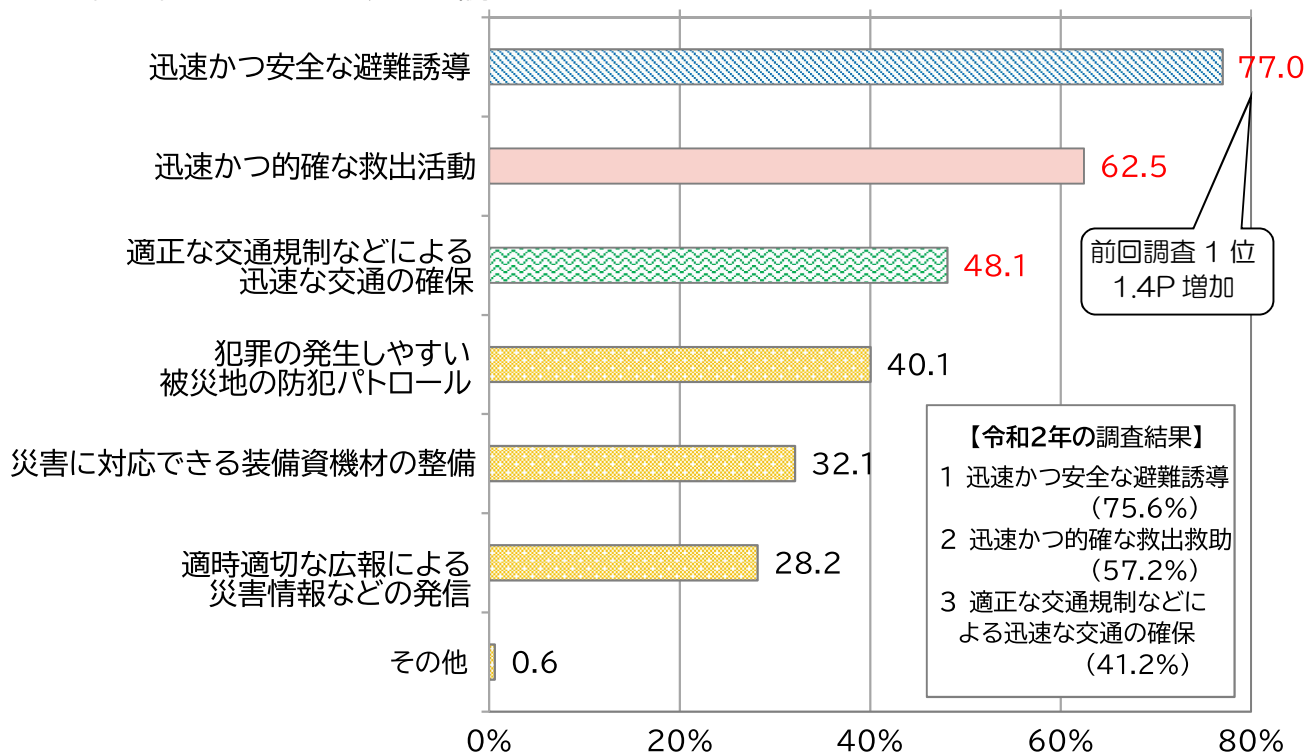


《不特定多数の者が集まる場所の安全対策》



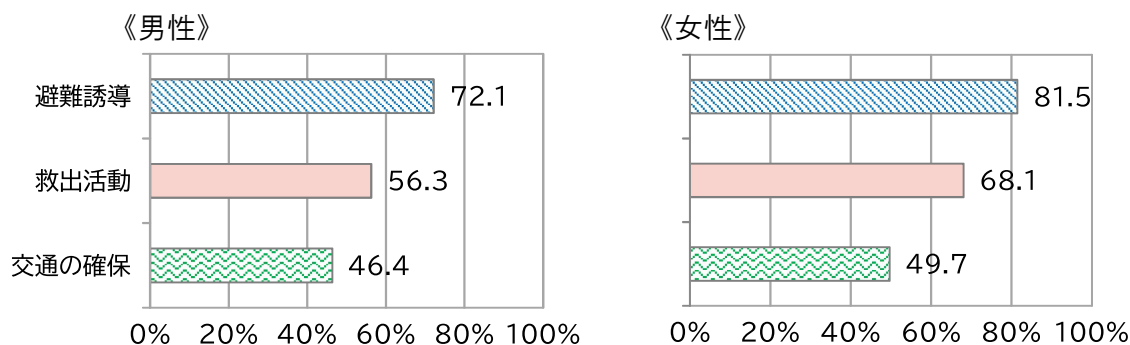
問 18 災害の発生時に、警察に期待するものは何ですか。（複数回答可）

- ◇ 「迅速かつ安全な避難誘導」の割合が 77.0%と最も高く、前回調査より 1.4 ポイント増加
- ◇ 「迅速かつ的確な救出救助」、「適正な交通規制などによる迅速な交通の確保」の割合は依然として高く、前回調査よりいずれも増加

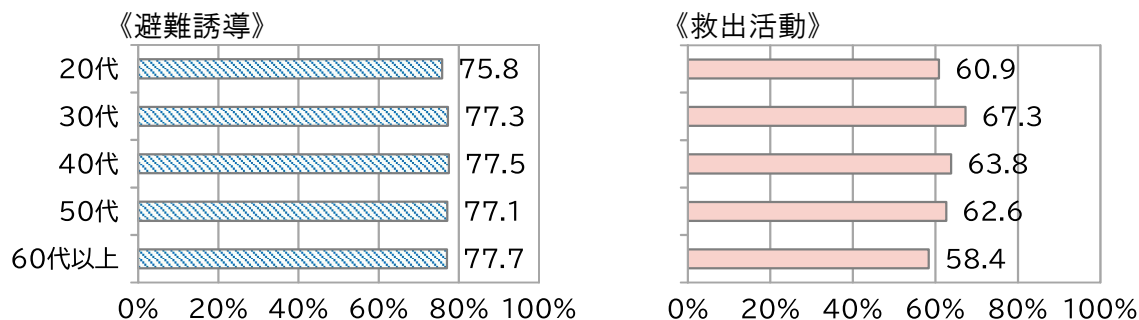


特 徴

【男女別】 「避難誘導」、「救出活動」の割合は男性より女性が高くなっています。（前回調査と同じ特徴）



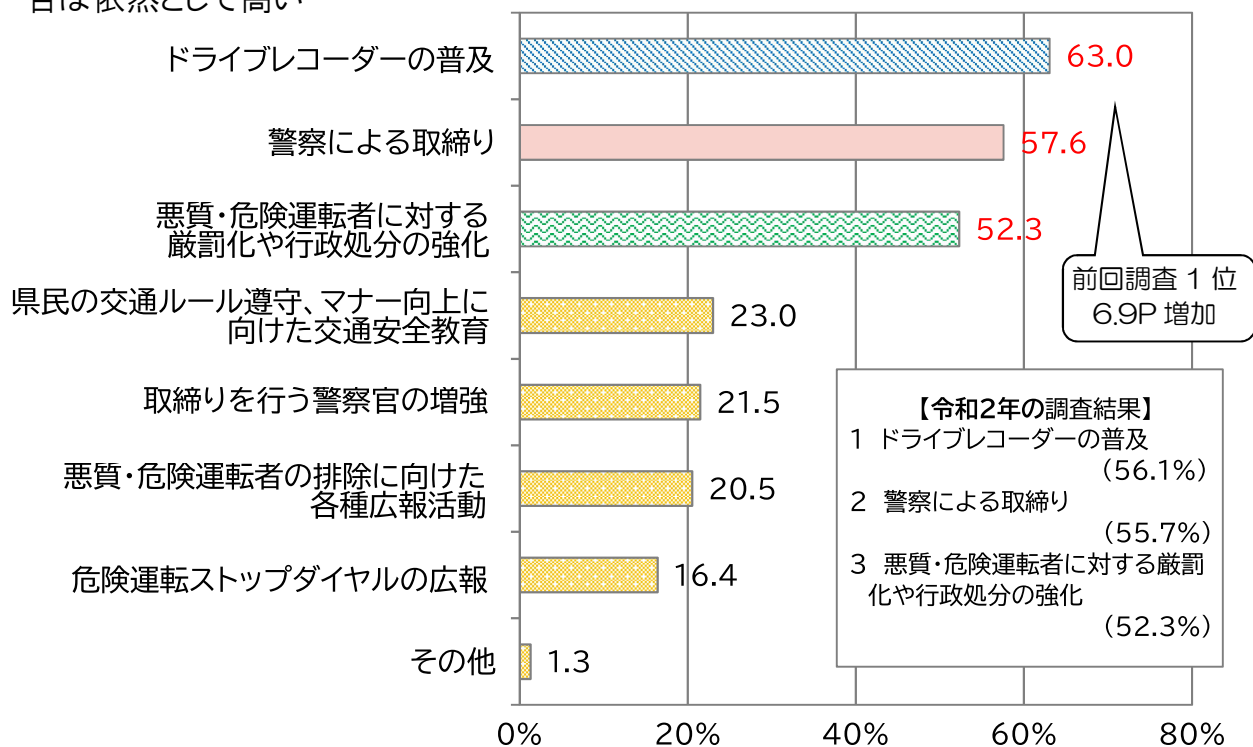
【年代別】 「避難誘導」の割合は全ての年代で 70% を超え、高くなっています。（前回調査と同じ特徴）  
「救出活動」は 20 代、30 代が特に高くなっています。（前回調査と同じ特徴）



問 19 飲酒運転、ひき逃げ、あおり運転、著しい速度超過等の悪質・危険な運転者を排除するため、もっと強化すべき対策は何ですか。

(複数回答可)

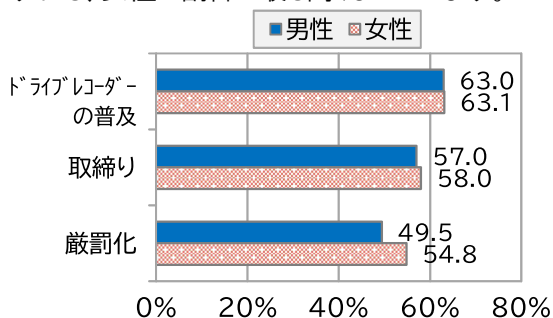
- ◇ 「ドライブレコーダーの普及」の割合が 63.0%と最も高く前回調査より 6.9 ポイント増加
- ◇ 「警察による取締り」、「悪質・危険運転者に対する厳罰化や行政処分の強化」の割合は依然として高い



特 徴

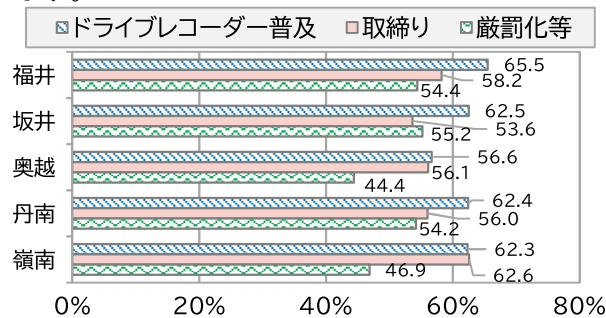
【男女別】

「ドライブレコーダーの普及」、「取締り」、「厳罰化」のいずれも、女性の割合が最も高くなっています。



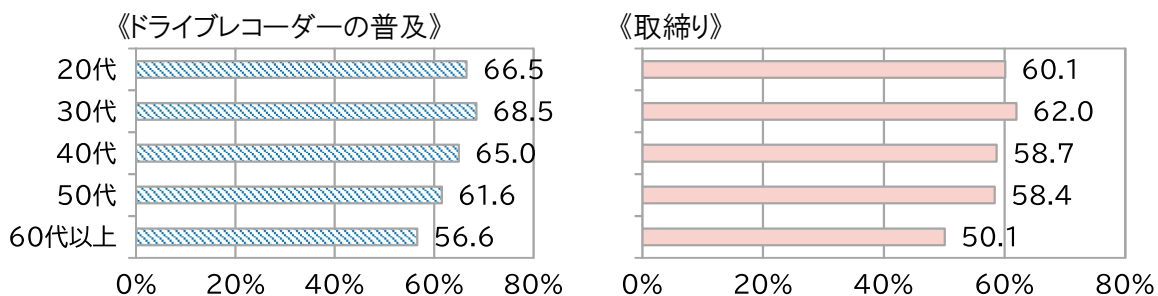
【地域別】

「取締り」の割合は、嶺南ブロックで特に高くなっています。



【年代別】

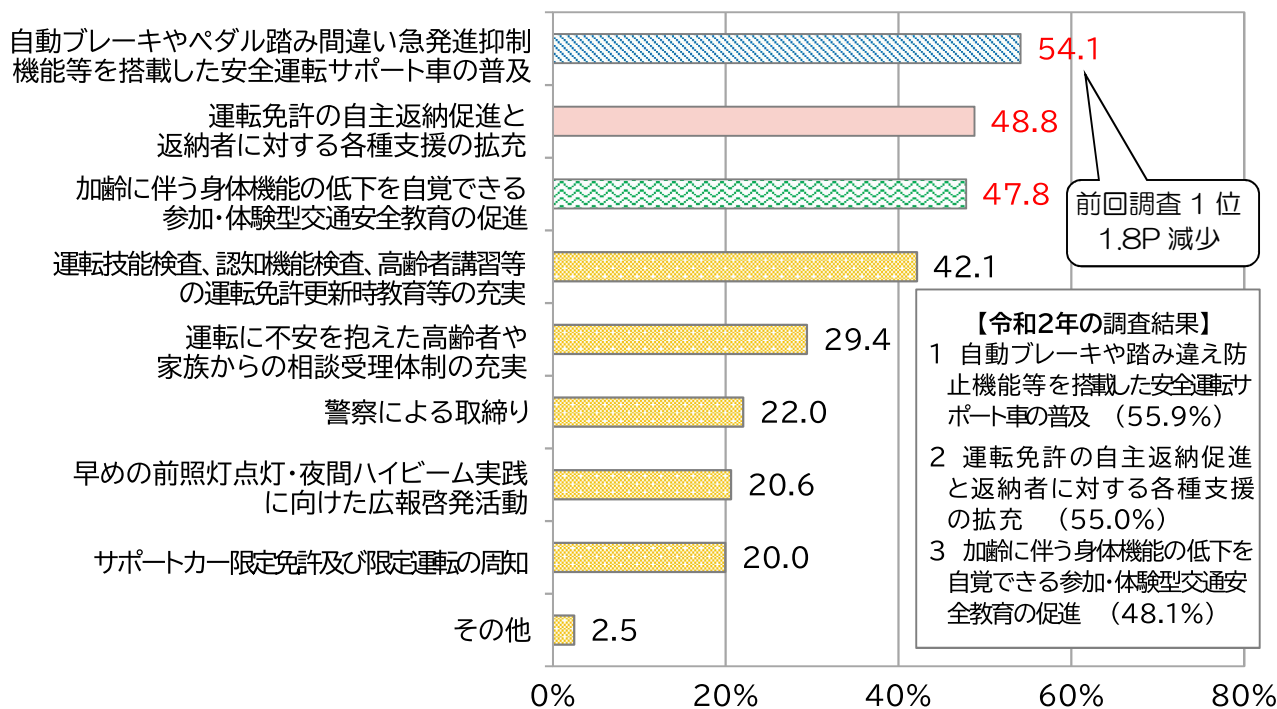
「ドライブレコーダーの普及」、「取締り」の割合は共に、20代、30代で高くなっています。



問 20 高齢者の交通死亡事故を防止するため、もっと強化すべき対策は何ですか。（複数回答可）

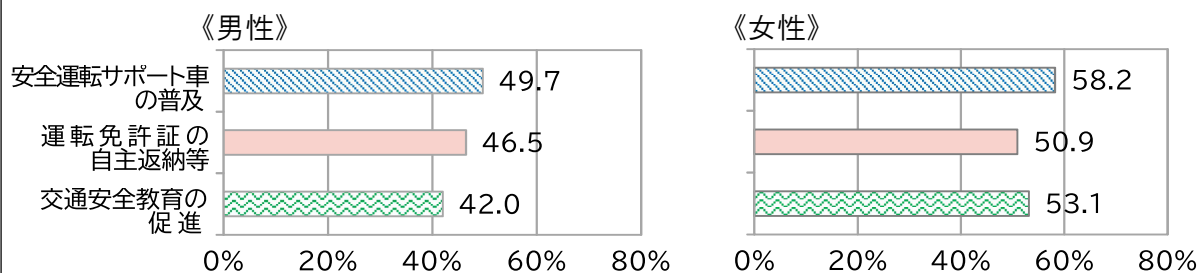
【運転者対策】

- ◇ 「自動ブレーキ踏み間違い急発進抑制機能等を搭載した安全運転サポート車の普及」の割合が 54.1%と最も高いが、前回調査より 1.8 ポイント減少
- ◇ 「運転免許の自主返納促進と返納者に対する各種支援の拡充」、「参加・体験型交通安全教育の促進」の割合は依然として高い

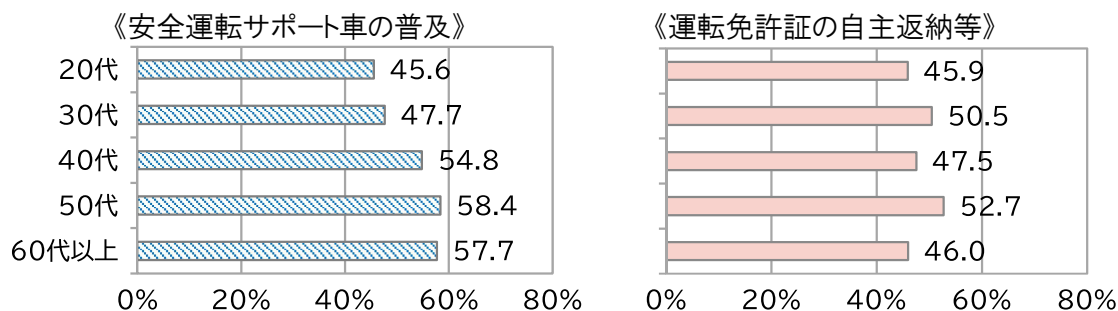


特徴

【男女別】 「安全運転サポート車の普及」、「運転免許証の自主返納等」、「交通安全教育の促進」の割合は、いずれも男性より女性が高くなっています。（前回調査と同じ特徴）



【年代別】 「安全運転サポート車の普及」の割合は 40 代から 60 代以上で 50%以上と高くなっています。「運転免許証の自主返納等」の割合は 30 代、50 代が特に高くなっています。

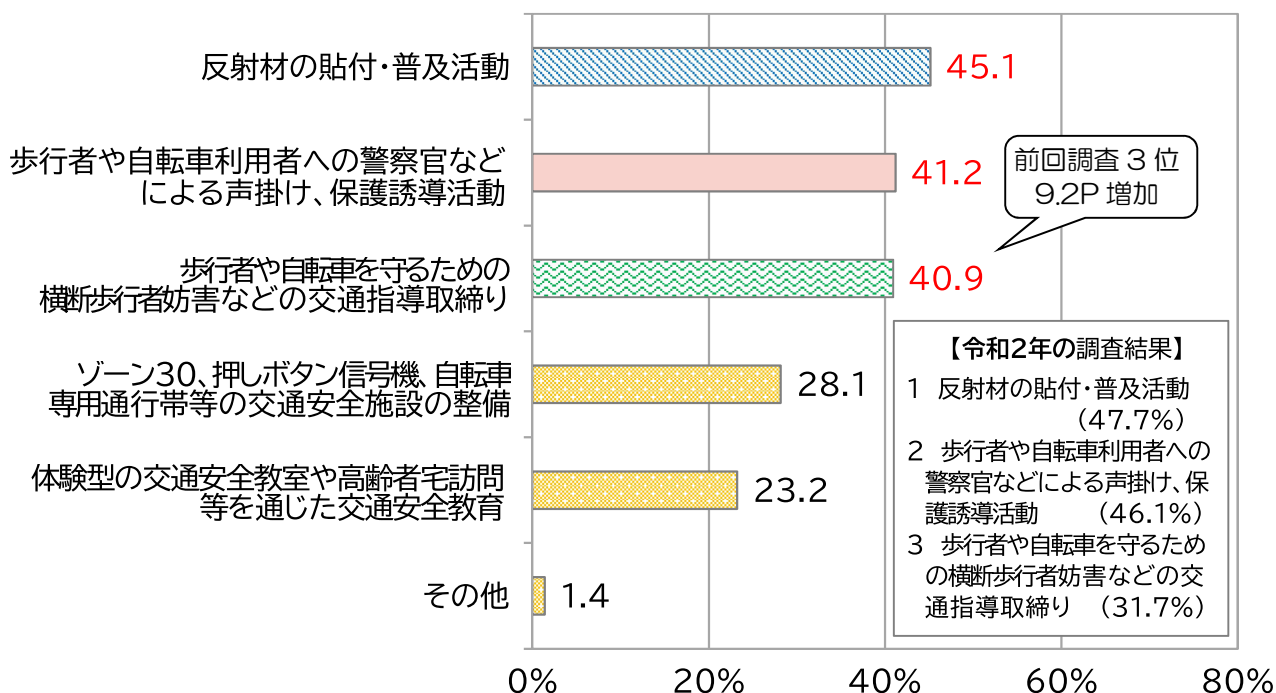




問 20 高齢者の交通死亡事故を防止するため、もっと強化すべき対策は何ですか。（複数回答可）

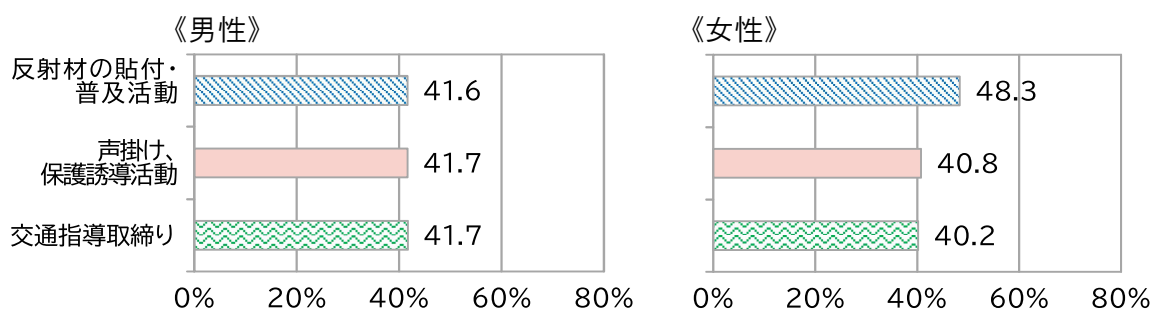
**【歩行者・自転車利用者対策】**

- ◇ 「反射材の貼付・普及活動」の割合が 45.1%と最も高いが、前回調査より 2.6 ポイント減少
- ◇ 「歩行者や自転車を守るための横断歩行者妨害などの交通指導取締り」の割合が、前回調査より 9.2 ポイント増加



**特 徴**

**【男女別】** 「反射材の貼付・普及活動」の割合は男性より女性が高く、「声掛け、保護誘導活動」の割合は女性より男性が高くなっています。（前回調査と同じ特徴）



**【年代別】** 「反射材の貼付・普及活動」の割合は 30 代が最も高くなっています。「声掛け、保護誘導活動」の割合は 40 代が最も高くなっています。

